神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	Ba PC(Bass private counseling)	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】
ベースの基本技術(運指、読譜)に重点を置き、基礎トレーニングや色々なパターンの譜読み。また8分音符、16分音符のフレーズ集、クリックを用いてフレーズの歌い方やリズムのはめ方のレクチャー。曲を通してそれを活かしていく。

【実務者経験】
元憂歌団のボーカル木村充揮のバンドへの参加をはじめ、木村充揮×近藤房之助のユニットバンド「クレイジードッグス」でも共演する。また’12年、ボブジェームスのバンド、Sax DAVE McMARREYなどと共演。ほか、さまざまなアーティストのライブサポート、レ

【到達目標】
基礎的なベースの技術を習得しそれをフレーズの歌い方によって自在に使いこなせる。8分音符16分音符が混雑したベース譜をある程度読み弾けるようになる。

授業計画・内容	
1週目	ネック側の運指トレーニング方法 縦の動き、横の動き
2週目	弦を弾く側のトレーニング方法 オルタネイトで弾く事の強化
3週目	4分音符、シンコペーションを含んだ譜読み
4週目	8分音符、シンコペーションを含んだ譜読み
5週目	16分音符、シンコペーションを含んだ譜読み
6週目	ハンマリング、プリング、スライド、グリッサンドの定義と奏法の確認
7週目	ハンマリング、プリングを含めたフレーズ集
8週目	スライド、グリッサンドを含めたフレーズ集
9週目	デッドノートの奏法とフレーズ デッドノートを使うことによって得られるスピード感を体感する
10週目	基礎奏法を使った8beatの曲
11週目	基礎奏法を使った16beatの曲
12週目	デッドノートを使った曲
13週目	総まとめでセッションをしてみる
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	まずは音楽に取り組むための土台作りをしていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	Ba PC(Bass private counseling)	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】
ベースのパート譜を読み弾く。様々なスケールのエクササイズ。

【実務者経験】
元憂歌団のボーカル木村充揮のバンドへの参加をはじめ、木村充揮×近藤房之助のユニットバンド「クレイジードッグス」でも共演する。また’12年、ボブジェームスのバンド、Sax DAVE McMARREYなどと共演。ほか、さまざまなアーティストのライブサポート、レ

【到達目標】
初見である程度の曲を弾く事ができる。色々なジャンルの基礎パターンを習得し自由に使えるようになる。またリードシートでその基礎パターンを使いアドリブソロもできるようになる。

授業計画・内容	
1週目	8beatの曲のベースパート譜
2週目	16beatの曲のベースパート譜
3週目	16beatの曲のベースパート譜2
4週目	スラップ奏法を使った曲のベースパート譜
5週目	スラップ奏法を使った曲のベースパート譜2 16分音符より細かい音を使っていく
6週目	スケールエクササイズ ダイアトニック1
7週目	スケールエクササイズ ダイアトニック2
8週目	スケールエクササイズ ドミナント時のスケール1
9週目	スケールエクササイズ ドミナント時のスケール2
10週目	スイングベース Walking Bassのエクササイズ 2beatと4beatの違い
11週目	Bossa.Samba Sambaは基本パターンとパルチドをレクチャー
12週目	Salsa.Timba 2:3と3:2の時のベースパターンの違いを理解する
13週目	ワークショップ(海外研修)
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	様々なジャンルの事を知る事によってリズム感の強化になるので取り組んでいってください。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	ベーシックキーボード (Basic Keyboard)	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分 曜日・時間	前期(半期のみ)

【授業の学習内容】
・テキストで学んだ内容をキーボードでアウトプットする。
・各自選曲した曲を両手で演奏する。

【実務者経験】YAMAHA音楽能力検定指導グレード5級、演奏グレード5級取得。ヤマハ音楽復興会ヤマハ音楽教育システムにて講師、また自身でもピアノ教室を運営。演奏会などにも出演をしている。

【到達目標】
コードを見て両手で演奏できるようになる。

授業計画・内容	
1週目	イントロダクション
2週目	音名、音程、音階を覚えて弾けるようにする
3週目	基本コード
4週目	ダイアトニックコード　3和音
5週目	ダイアトニックコード　4和音
6週目	SUSコード　addコード
7週目	augコード　dimコード
8週目	コード進行　基本パターン1
9週目	コード進行　基本パターン2
10週目	コード進行　基本パターン3
11週目	コード進行　基本パターン4
12週目	コード進行　基本パターン5
13週目	テスト
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	キーボードの練習が可能なら、時間外での練習が望ましい。
評価方法	試験および授業態度、出席日数。
受講生へのメッセージ	曲の音源は授業の最初に音を流しますが配付はしませんので、iPad、スマートフォンなどからyoutube等を検索して、それを聴きながら練習してください。

【使用教科書・教材・参考書】
・Keyboard fundamental
・五線紙

神戸・甲陽音楽&ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	ベースグルーヴアナライズ Bass Groove Analyze	必修選択	選択	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】
正確な音価のコントロールとともに、各音楽ジャンルによるフィーリングを考察。
様々な音楽スタイルを習得するための基盤作り。

【実務者経験】大阪・東京・神戸を中心に各地イベントやホテルでの演奏活動に加え毎月のライブを活発にしている。

【到達目標】
ベースパート本来の働きを理解し、タイムキープ能力、音価のコントロール力を身につける。

授業計画・内容	
1週目	グルーヴの重要性を説明し、自ら拍を感じベース演奏でそれを表現するという事を理解してもらう。
2週目	4分、8分、16分音符、休符を説明。及びエクササイズ①
3週目	4分、8分、16分音符、休符を説明。及びエクササイズ②
4週目	スタッカート、テヌートなどアーティキュレーションによる音価の違い。
5週目	アクセント、シンコペーションを理解する。
6週目	フレージングによるリズム的な変化の漬け方を理解する①
7週目	フレージングによるリズム的な変化の漬け方を理解する②
8週目	8th note feel実演①
9週目	8th note feel実演②
10週目	16th note feel実演①
11週目	16th note feel実演②
12週目	バウンスリズムの説明と実演①
13週目	バウンスリズムの説明と実演、前期内容の総まとめ。
14週目14週目	ワークショップ
15週目15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	一緒に頑張りましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽&ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	ベースグルーヴアナライズ Bass Groove Analyze	必修選択	選択	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】
正確な音価のコントロールとともに、各音楽ジャンルによるフィーリングを考察。
様々な音楽スタイルを習得するための基盤作り。

【実務者経験】大阪・東京・神戸を中心に各地イベントやホテルでの演奏活動に加え毎月のライブを活発にしている。

【到達目標】
ベースパート本来の働きを理解し、タイムキープ能力、音価のコントロール力を身につける。

授業計画・内容	
1週目	ダイアトニックな代理・セカンダリードミナント
2週目	ディミニッシュを使ったベースライン。強拍と弱拍について
3週目	コードトーン+アプローチノートを学び次のコードのルートを意識する
4週目	アルペジオを使ったベースラインについt
5週目	メロディーとそのリズムについて。モチーフの重要性を知り、曲のメロディを実際に演奏してみる
6週目	ワンコードでのベースソロ。アルペジオとスケールを確認
7週目	コードトーンの重要性・テンションを強調したフレージングを確認。自分の演奏している音がコードに対して何度音程か把握できるようにする
8週目	コード進行の分析・ソロのコピーを行う
9週目	ベースラインとソロ作成・演奏(8th Rock)
10週目	ベースラインとソロ作成・演奏(Slow 16th)
11週目	ベースラインとソロの作成・演奏(Fast Samba)
12週目	ベースラインとソロの作成・演奏(Medium Swing)
13週目	ワークショップ(海外研修)
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	一緒に頑張りましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	Baテクニック&パフォーマンス（Technique & Performance）	必修選択	必修	年次	1,2年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】
フォームの確認、基礎トレーニングを中心に楽器をしっかり響かせる事、右手と左手のコンビネーション、演奏技術の向上。スケールを用いて指板上での音程の理解。

【実務者経験】
元憂歌団のボーカル木村充揮のバンドへの参加をはじめ、木村充揮×近藤房之助のユニットバンド「クレイジードッグス」でも共演する。また’12年、ボブジェームスのバンド、Sax DAVE McMARREYなどと共演。ほか、さまざまなアーティストのライブサポート、レコーディングをこ

【到達目標】
早いテンポでの基礎トレーニングのクオリティを上げることによりいかなるテンポでもフレーズが弾けるようになる。スケールを用いて簡単なアドリブソロができるようになる。

授業計画・内容	
1週目	フォームの確認、あからさまに演奏に支障のあるフォームは改善する。基礎トレーニング（左手クロマチック横の動き、クロマチック縦の動き、右手のオルタネイトの動き）
2週目	4分音符、8分音符の読譜
3週目	16分音符、3連符の読譜
4週目	各音符を含んだシンコペーションの読譜
5週目	ハンマリング、プリング、スライド、グリッサンドの定義の確認と奏法。
6週目	ハンマリング、プリングを使用したフレーズ集。
7週目	スライド、グリッサンドを使用したフレーズ集。
8週目	デッドノートの奏法、フレーズ。デッドノート特有のパーカッシヴなベースを体感する。
9週目	メジャースケール、マイナースケールの運指を指板全体で行う。アドリブソロをしてみる。
10週目	基礎奏法を用いた曲8beat
11週目	基礎奏法を用いた曲16beat
12週目	デッドノートを用いた曲
13週目	今までの奏法を用いてセッション。アドリブソロもしてみる。
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	
評価方法	授業態度、演奏スキル
受講生への メッセージ	今まで培ってきたものから更に演奏するのに必要な筋力や知識を身につけていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】
Electric Bass orverthrow

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	Baテクニック&パフォーマンス（Technique & Performance）	必修選択	必修	年次	1,2年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】
ベースの奏法の一つ、スラップ奏法の基礎。右手と左手のコンビネーションの向上、フレージング。

【実務者経験】
元憂歌団のボーカル木村充揮のバンドへの参加をはじめ、木村充揮×近藤房之助のユニットバンド「クレイジードッグス」でも共演する。また’12年、ボブジェームスのバンド、Sax DAVE McMARREYなどと共演。ほか、さまざまなアーティストのライブサポート、レコーディングをこなす。

【到達目標】
スラップ奏法を用いて曲を演奏する事ができる。スラップ奏法で自分でフレーズを作る事ができる。

授業計画・内容	
1週目	スラップ奏法のフォーム確認。あからさまに演奏に支障をきたすフォームは改善する。サムピングの基礎トレーニング。
2週目	スラップ奏法基礎。右手サムピングの速度向上。
3週目	スラップ奏法基礎。サムピングとプルのコンビネーション。
4週目	スラップ奏法基礎。右手と左手の組み合わせとコンビネーション。
5週目	スラップ奏法でフレーズをクリックを使用して演奏。スラップ奏法は右手を振っての演奏になるため腕の振りを見越して自分の音を出すタイミング でアタックできるように。
6週目	ハンマリング、プリングを使用したスラップフレーズ。
7週目	右手のフィンガー奏法とスラップ奏法を入れ替えるタイミングの考慮。
8週目	スラップフレーズ集No.1～5
9週目	スラップフレーズ集No.6～10
10週目	スラップフレーズ集No.11～15
11週目	スラップ奏法を用いた曲。
12週目	フィンガー奏法とスラップ奏法の入れ替わり曲。
13週目	ワークショップ(海外研修)
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	
評価方法	授業態度、演奏スキル
受講生への メッセージ	スラップ奏法は音が出るまでに腕を振り上げる動作に加えて右手もサムピングとプルのコンビネーションなのでフィンガー奏法よりも難易度が高いです。しっかり基礎からトレーニングしていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	ビッグバンド BIGBAND	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】
ビックバンドによるアンサンブルの習得。

【実務者経験】幼少の頃より、父・古谷充の影響で音楽の基礎とピアノを学ぶ。
ジャズ・サックスを赤松二郎、奥田章三、宗清洋、理論を田中克彦に師事。'98年3月アルバム「KHAMSIN」をリリース。'97年12月アトランタ、'98年9月GJOでモンタレイ・ジャズ・フェスティバル、'04～'06年IAJEなどに参加。ほか「est−1」CMソング、「パワフルプロ野球」OPテーマ提供。円広志のセッションレコーディングにも参加。

【到達目標】
単音楽器である管楽器でアンサンブルをする事で、ハーモニー感やアンサンブル感を習得する。
また、JAZZの基本であるアーティキュレーション等も取得する。

授業計画・内容	
1週目	各楽器の演奏レベルのチェック、後、選曲会議
2週目	THE TEN-MINUTE JAZZ WARMUPを使いウォームアップ、その後楽曲演奏
3週目	ウォームアップ、その後楽曲演奏
4週目	ウォームアップ、その後楽曲演奏
5週目	ウォームアップ、その後楽曲演奏
6週目	ウォームアップ、その後楽曲演奏
7週目	ウォームアップ、その後楽曲演奏
8週目	ウォームアップ、その後楽曲演奏
9週目	ウォームアップ、その後楽曲演奏
10週目	ウォームアップ、その後楽曲演奏
11週目	ウォームアップ、その後楽曲演奏
12週目	ウォームアップ、その後楽曲演奏
13週目	ウォームアップ、その後楽曲演奏
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	BUGBAND楽曲をよく聴きいてください。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	JAZZはニューオリンズから発展していきましたが、その歴史の中でビックバンドは、アレンジを大きく躍進させたと思います。 それは、大きなダンスホールで演奏すにはコンボでは聞こえなかったからです。 COUNT BASIE等の楽曲を使い、BIG BANDの基本をマスターしていきたいと思っています。 SOLOも大事ですが、アンサンブルを考える事も演奏家としての技術の一つだと思いますので、頑張って受けてみてください。

【使用教科書・教材・参考書】
教材は、THE TEN-MINUTE JAZZ WARMUP
参考は、COUNT BASIE / DUKE ELLINGTON / BUDDY RICH 等の楽曲を聴きまくってください。

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	ビッグバンド BIGBAND	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】
ビックバンドによるアンサンブルの習得。

【実務者経験】幼少の頃より、父・古谷充の影響で音楽の基礎とピアノを学ぶ。
ジャズ・サックスを赤松二郎、奥田章三、宗清洋、理論を田中克彦に師事。'98年3月アルバム「KHAMSIN」をリリース。'97年12月アトランタ、'98年9月GJOでモンタレイ・ジャズ・フェスティバル、'04～'06年IAJEなどに参加。ほか「est−1」CMソング、「パワフルプロ野球」OPテーマ提供。円広志のセッションレコーディングにも参加。

【到達目標】
単音楽器である管楽器でアンサンブルをする事で、ハーモニー感やアンサンブル感を習得する。
前期よりも、レベルの高い（時代の新しい）楽曲を演奏する。

授業計画・内容	
1週目	各楽器の演奏レベルのチェック、後、選曲会議
2週目	THE TEN-MINUTE JAZZ WARMUPを使いウォームアップ、その後楽曲演奏
3週目	ウォームアップ、その後楽曲演奏
4週目	ウォームアップ、その後楽曲演奏
5週目	ウォームアップ、その後楽曲演奏
6週目	ウォームアップ、その後楽曲演奏
7週目	ウォームアップ、その後楽曲演奏
8週目	ウォームアップ、その後楽曲演奏
9週目	ウォームアップ、その後楽曲演奏
10週目	ウォームアップ、その後楽曲演奏
11週目	ウォームアップ、その後楽曲演奏
12週目	ウォームアップ、その後楽曲演奏
13週目	ワークショップ（海外研修）
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	BUGBAND楽曲をよく聴きいてください。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	JAZZはニューオリンズから発展していきましたが、その歴史の中でビックバンドは、アレンジを大きく躍進させたと思います。 それは、大きなダンスホールで演奏すにはコンボでは聞こえなかったからです。 前期の楽曲以外のレベルの高い楽曲を使い、BIG BANDをマスターしていきたいと思っています。 SOLOも大事ですが、アンサンブルを考える事も演奏家としての技術の一つだと思いますので、頑張って受けてみてください。

【使用教科書・教材・参考書】
教材は、THE TEN-MINUTE JAZZ WARMUP
参考は、COUNT BASIE / DUKE ELLINGTON / BUDDY RICH 等の楽曲を聴きまくってください。

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	中編成（Middle Organization）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分 曜日・時間	前期

【授業の学習内容】
ビックバンドによるアンサンブルの習得。

【実務者経験】幼少の頃より、父・古谷充の影響で音楽の基礎とピアノを学ぶ。
ジャズ・サックスを赤松二郎、奥田章三、宗清洋、理論を田中克彦に師事。'98年3月アルバム「KHAMSIN」をリリース。'97年12月アトランタ、'98年9月GJOでモンタレイ・ジャズ・フェスティバル、'04～'06年IAJEなどに参加。ほか「est−1」CMソング、「パワフルプロ野球」OPテーマ提供。円広志のセッションレコーディングにも参加。

【到達目標】
単音楽器である管楽器でアンサンブルをする事で、ハーモニー感やアンサンブル感を習得する。
また、JAZZの基本であるアーティキュレーション等も取得する。

授業計画・内容	
1週目	各楽器の演奏レベルのチェック、後、選曲会議
2週目	THE TEN-MINUTE JAZZ WARMUPを使いウォームアップ、その後楽曲演奏
3週目	ウォームアップ、その後楽曲演奏
4週目	ウォームアップ、その後楽曲演奏
5週目	ウォームアップ、その後楽曲演奏
6週目	ウォームアップ、その後楽曲演奏
7週目	ウォームアップ、その後楽曲演奏
8週目	ウォームアップ、その後楽曲演奏
9週目	ウォームアップ、その後楽曲演奏
10週目	ウォームアップ、その後楽曲演奏
11週目	ウォームアップ、その後楽曲演奏
12週目	ウォームアップ、その後楽曲演奏
13週目	ウォームアップ、その後楽曲演奏
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	BUGBAND楽曲をよく聴きいてください。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	JAZZはニューオリンズから発展していきましたが、その歴史の中でビックバンドは、アレンジを大きく躍進させたと思います。 それは、大きなダンスホールで演奏すにはコンボでは聞こえなかったからです。 COUNT BASIE等の楽曲を使い、BIG BANDの基本をマスターしていきたいと思っています。 SOLOも大事ですが、アンサンブルを考える事も演奏家としての技術の一つだと思いますので、頑張って受けてみてください。

【使用教科書・教材・参考書】
教材は、THE TEN-MINUTE JAZZ WARMUP
参考は、COUNT BASIE / DUKE ELLINGTON / BUDDY RICH 等の楽曲を聴きまくってください。

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	中編成（Middle Organization）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分 曜日・時間	後期

【授業の学習内容】
ビックバンドによるアンサンブルの習得。

【実務者経験】幼少の頃より、父・古谷充の影響で音楽の基礎とピアノを学ぶ。
ジャズ・サックスを赤松二郎、奥田章三、宗清洋、理論を田中克彦に師事。’98年3月アルバム「KHAMSIN」をリリース。’97年12月アトランタ、’98年9月GJOでモンタレイ・ジャズ・フェスティバル、’04～’06年IAJEなどに参加。ほか「est−1」CMソング、「パワフルプロ野球」OPテーマ提供。円広志のセッションレコーディングにも参加。

【到達目標】
単音楽器である管楽器でアンサンブルをする事で、ハーモニー感やアンサンブル感を習得する。
前期よりも、レベルの高い（時代の新しい）楽曲を演奏する。

授業計画・内容	
1週目	各楽器の演奏レベルのチェック、後、選曲会議
2週目	THE TEN-MINUTE JAZZ WARMUPを使いウォームアップ、その後楽曲演奏
3週目	ウォームアップ、その後楽曲演奏
4週目	ウォームアップ、その後楽曲演奏
5週目	ウォームアップ、その後楽曲演奏
6週目	ウォームアップ、その後楽曲演奏
7週目	ウォームアップ、その後楽曲演奏
8週目	ウォームアップ、その後楽曲演奏
9週目	ウォームアップ、その後楽曲演奏
10週目	ウォームアップ、その後楽曲演奏
11週目	ウォームアップ、その後楽曲演奏
12週目	ウォームアップ、その後楽曲演奏
13週目	ワークショップ（海外研修）
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	BUGBAND楽曲をよく聴きいてください。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	JAZZはニューオリンズから発展していきましたが、その歴史の中でビックバンドは、アレンジを大きく躍進させたと思います。 それは、大きなダンスホールで演奏すにはコンボでは聞こえなかったからです。 前期の楽曲以外のレベルの高い楽曲を使い、BIG BANDをマスターしていきたいと思っています。 SOLOも大事ですが、アンサンブルを考える事も演奏家としての技術の一つだと思いますので、頑張って受けてみてください。

【使用教科書・教材・参考書】
教材は、THE TEN-MINUTE JAZZ WARMUP
参考は、COUNT BASIE / DUKE ELLINGTON / BUDDY RICH 等の楽曲を聴きまくってください。

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	Creaters IT	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】
ミュージシャン、ダンサーが活動していく上で必要なITスキル、またマーケティング思考

【実務者経験】
2005年ビクターエンターテーメントよりメジャーデビュー、2007年より音楽制作所「GLOBAL SKILLS」を起業。数々のアーティストのプロデュース、楽曲制作、編曲を手がける。現在はアニメ、ゲーム業界を中心に活動中。

【到達目標】
様々なアプリケーションを使用するので、7割は使えるように目指す。そして自分にとって一番有益だと感じたアプリにおいてはプロフェッショナルを目指す。

授業計画・内容	
1週目	オリエンテーリングとニーズの抽出
2週目	SNSプロモーション①
3週目	SNSプロモーション②
4週目	SNSプロモーション③
5週目	SNSブランディングの結果考察と課題の抽出
6週目	iMOVIE等を使用した動画スキル①
7週目	iMOVIE等を使用した動画スキル②
8週目	iMOVIE等を使用した動画スキル③
9週目	動画アワード
10週目	YOUTUBEプロモーション①
11週目	YOUTUBEプロモーション②
12週目	YOUTUBEプロモーション③
13週目	オーディション対策①
14週目	オーディション対策②
15週目	振り返り
準備学習時間外学習	積極的に授業で使用したアプリケーションを使用してみる。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	今もとめられるのはスピード感とセルフプロモーション力です。自分でできる最大限のスキルを身につけていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	Creaters IT	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】
ミュージシャン、ダンサーが活動していく上で必要なITスキル、またマーケティング思考

【実務者経験】
2005年ビクターエンターテーメントよりメジャーデビュー、2007年より音楽制作所「GLOBAL SKILLS」を起業。数々のアーティストのプロデュース、楽曲制作、編曲を手がける。現在はアニメ、ゲーム業界を中心に活動中。

【到達目標】
様々なアプリケーションを使用するので、7割は使えるように目指す。そして自分にとって一番有益だと感じたアプリにおいてはプロフェッショナルを目指す。

授業計画・内容	
1週目	前期の振り返りと後期の目標
2週目	Garage Bandを使用した曲のデモ作り①
3週目	Garage Bandを使用した曲のデモ作り②
4週目	Garage Bandを使用した曲のデモ作り③
5週目	コンペティションの勝ち方①
6週目	コンペティションの勝ち方②
7週目	コンペティションアワード
8週目	DAW講座
9週目	CUBASEの使用方法①
10週目	CUBASEの使用方法②
11週目	CUBASEの使用方法③
12週目	MIX講座①
13週目	MIX講座②
14週目	必要な機材についての基礎知識
15週目	振り返り
準備学習時間外学習	積極的に授業で使用したアプリケーションを使用してみる。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	今もとめられるのはスピード感とセルフプロモーション力です。自分でできる最大限のスキルを身につけていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	Dr PC(Drums Private Counseling)	必修選択	必修	年次	1,2年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】
課題楽曲の演奏を通して、プロに必要なスキル、マインド、発想力、トレーニング方法を学ぶ

【実務者経験】
ラスベガスで日本人初の単独公演。ヨーロッパの国立オーケストラ、ブルガリア国立ソフィアフィルハーモニーとブルガリアで共演するなど国際的に活躍。ポニーキャニオン系列からデビュー。USJのドラマーとして活動。USJカウントダウンショー製作。Battle de Egg優勝。TV出演、片岡愛之助「夜の愛之助」/NHK「ゆく年くる年」/フジテレビ「ワケあり旅人に便乗してみました」。　ナタリーエモンズ(ex.トリバゴ)日本初コンサート出演。

【到達目標】
自分で表現した演奏で様々な音楽を表現できるようになる

授業計画・内容	
1週目	8ビート
2週目	アップテンポ8ビート
3週目	バラード
4週目	１６ビート
5週目	16分裏を絡めた8ビート
6週目	キメを絡めたループビート
7週目	片手16ビート
8週目	バウンスビート
9週目	ハーフタイム シャッフル
10週目	シャッフル&セカンドライン
11週目	足のダブルを含むビート&変拍子
12週目	バックグラウンドでドラムソロ
13週目	フリードラムソロ
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	課題曲の確認
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	コピー演奏から抜け出し、自分の音楽で楽曲を表現できるようにレッスンします！ それぞれの力に合わせた演奏に磨きをかけて更に素晴らしい音楽を表現できるようにしましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	Dr PC(Drums Private Counseling)	必修選択	必修	年次	1,2年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】
様々な場面に適応できるようにするためのトレーニングの提案、実践。音楽に向き合う姿勢、考え方から適切にスキルアップを促す。

【実務者経験】
ラスベガスで日本人初の単独公演。ヨーロッパの国立オーケストラ、ブルガリア国立ソフィアフィルハーモニーとブルガリアで共演するなど国際的に活躍。ポニーキャニオン系列からデビュー。USJのドラマーとして活動。USJカウントダウンショー製作。Battle de Egg優勝。TV出演、片岡愛之助「夜の愛之助」/NHK「ゆく年くる年」/フジテレビ「ワケあり旅人に便乗してみました」。ナタリーエモンズ(ex.トリバゴ)日本初コンサート出演。

【到達目標】
基礎力・応用力・発想力の向上と表現。

授業計画・内容	
1週目	8ビートのアレンジ
2週目	16ビートのアレンジ
3週目	便利なコンビネーション1
4週目	便利なコンビネーション2
5週目	実践で活かすルーディメンツ1
6週目	実践で活かすルーディメンツ2
7週目	実践で活かすルーディメンツ3
8週目	Jazzアプローチ1
9週目	Jazzアプローチ2
10週目	Latinアプローチ1
11週目	Latinアプローチ2
12週目	ドラムソロ
13週目	ワークショップ(海外研修)
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ

準備学習 時間外学習	課題曲の確認
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	コピー演奏から抜け出し、自分の音楽で楽曲を表現できるようにレッスンします！ それぞれの力に合わせた演奏に磨きをかけて更に素晴らしい音楽を表現できるようにしましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	Dr PC(Drums Private Counseling)	必修選択	必修	年次	1,2年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】
アメリカン・ルーディメンツを始め、あらゆる教材を使用し基礎力を高める演習。

【実務者経験】宝塚歌劇やミュージカル等での演奏、録音の他、様々なジャンルの歌手のステージ、ショーを務める。
毎年、関西の全てのオーケストラのポップスコンサートに出演。
主な参加ミュージカル
『ローマの休日』－ 大地真央 主演・『ファントム』－ 蘭寿とむ 主演・『ラマンチャの男』－ 松本幸四郎 主演
『オーシャンズ11』－ 香取慎吾、観月ありさ 主演・『バーンスタイン　ミサ』－ 井上道義　指揮　等。
甲陽音楽学院、大阪スクールオブミュージック、大阪芸術大学、大阪芸術大学短期大学、で教鞭を執っている。

【到達目標】
どんなジャンルの音楽に進んでも重要な、基礎力を身に付ける。オープンロールを使ったルーディメンツは元より、クローズドロールを使ったルーディメンツも学ぶ事により、より幅広いジャンルに対応出来るチカラをつける。

授業計画・内容	
1週目	シングルストローク、ダブルストロークの確認。
2週目	シングルストローク、ダブルストロークを使用したチェンジアップの演習。
3週目	フラム、ドラッグの確認。
4週目	シングルパラディドル、ダブルパラディドル、トリプルパラディドルの確認。
5週目	アメリカン・ルーディメンツ　Solo No.1~20
6週目	アメリカン・ルーディメンツ　Solo No.1~20
7週目	アメリカン・ルーディメンツ　Solo No.1~20
8週目	アメリカン・ルーディメンツ　Solo No.1~20
9週目	アメリカン・ルーディメンツ　Solo No.1~20
10週目	小太鼓100曲集　より抜粋で演習
11週目	小太鼓100曲集　より抜粋で演習
12週目	小太鼓100曲集　より抜粋で演習
13週目	小太鼓100曲集　より抜粋で演習
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	**毎日のトレーニングを継続させる。**
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	人によって進む道は違いますが、どんなジャンルの音楽に進もうと、基礎打法の習得は必要不可欠です。大変、根気のいるトレーニングばかりですが、必ず将来役立つ基礎力を、この演習で身に付けて下さい。

【使用教科書・教材・参考書】
The All-American Drummer 、小太鼓100曲集、等。

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	Dr PC(Drums Private Counseling)	必修選択	必修	年次	1,2年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】
前期で学習した事を基礎とし、それらをドラムセットやパーカッションで応用し、音楽の中でのドラミングを演習、考察する。

【実務者経験】宝塚歌劇やミュージカル等での演奏、録音の他、様々なジャンルの歌手のステージ、ショーを務める。
毎年、関西の全てのオーケストラのポップスコンサートに出演。
主な参加ミュージカル
『ローマの休日』－ 大地真央 主演・『ファントム』－ 蘭寿とむ 主演・『ラマンチャの男』－ 松本幸四郎 主演
『オーシャンズ11』－ 香取慎吾、観月ありさ 主演・『バーンスタイン　ミサ』－ 井上道義　指揮　等。
甲陽音楽学院、大阪スクールオブミュージック、大阪芸術大学、大阪芸術大学短期大学、で教鞭を執っている。

【到達目標】
自分の得意ジャンルを伸ばして行くだけでなく、あらゆる音楽的ニーズに応えられる、音楽的応用力と裾野を拡げる。

授業計画・内容	
1週目	基礎的演習。ブラジリアン・リズムについて。Bossanova.
2週目	基礎的演習。ブラジリアン・リズムについて。Bossanova.
3週目	基礎的演習。ブラジリアン・リズムについて。Samba、Partido Alto、等。
4週目	基礎的演習。ブラジリアン・リズムについて。Samba、Partido Alto、等。
5週目	基礎的演習。キューバン・リズムについて。Cha-Cha、Mambo、等。
6週目	基礎的演習。キューバン・リズムについて。Cha-Cha、Mambo、等。
7週目	基礎的演習。キューバン・リズムについて。Rumba、Salsa、等。
8週目	基礎的演習。キューバン・リズムについて。Rumba、Salsa、等。
9週目	基礎的演習。Reggae、Ska、等。
10週目	基礎的演習。Reggae、Ska、等。
11週目	基礎的演習。Spanish 音楽等の体験、考察。
12週目	基礎的演習。Spanish 音楽等の体験、考察。
13週目	ワークショップ(海外研修)
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	**毎日のトレーニングを継続させる。**
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	人によって進む道は違いますが、どんなジャンルの音楽に進もうと、基礎打法の習得は必要不可欠です。大変、根気のいるトレーニングばかりですが、必ず将来役立つ基礎力を、この演習で身に付けて下さい。

【使用教科書・教材・参考書】
The All-American Drummer 、小太鼓100曲集、等。

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	DR GROOVE MAKING 1	必修選択	選択	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】スタンダードなリズムパターンにルーディメンツとコントロールを用いり、表現の可能性とタイム感の習得を目的とし、テクニックだけではなく各楽器のチューニングや奏法を学ぶことにより、常に音色も意識出来るようになる。

【実務者経験】故樋口宗孝氏from LOUDNESS・Ray Luzier氏from Koヤnに師事。
バンドドラマー、ミュージカルやアーティストのバックミュージシャン、USJ等のテーマパークのパーカッショニスト等を経験し、専門卒業後はバンド活動を継続しつつ新たに母校にてレッスン等の講師業を始める。現在は現役バンドマンとして活躍中。

【到達目標】同じ曲でも表現方法が数多くあることを理解し、アプローチやタイム感、曲に合ったサウンドを追求する習慣を身に付ける事を目標とする。

授業計画・内容		
1週目	楽器構造の基礎理解、ドラム譜についての理解	チューニングの重要性の理解
2週目	基本姿勢と重心の変化で変わるビートの聴かせ方	バスドラムのチューニングとミュート
3週目	３種類のストロークを用いたハイハット奏法の実践	バスドラムのチューニングとミュート
4週目	キックパターン８分音符の実践	スネアのチューニングとスナッピーの調整
5週目	キックパターン16分音符の実践	スネアのチューニングとスナッピーの調整
6週目	８ビートにおけるゴーストノートパターンの実践	フロアドラムのチューニングとバスドラムの関係値
7週目	ゴーストノートとアクセント移動を用いたフィルインの実践	フロアドラムのチューニングとバスドラムの関係値
8週目	ゴーストノートとダブルストロークを用いたフィルインの実践	タムのチューニングとスネアの関係値
9週目	ゴーストノートとバズロールを用いたフィルインの実践	タムのチューニングとスネアの関係値
10週目	ハイハットにダブルストロークを用いたリズムパターンの実践	ジャンル別・ドラムセット全体のチューニング
11週目	パラディドルを用いたリズムパターンの実践	ジャンル別・ドラムセット全体のチューニング
12週目	パラディドルとフラム・ト゛ラク゛を用いたフィルインの実践	ジャンル別・ドラムセット全体のチューニング
13週目	総復習	ジャンル別・ドラムセット全体のチューニング
14週目	ワークショップ	
15週目	ワークショップ	
準備学習 時間外学習	ドラムでのトレーニングは、より実践に繋げられるようにサウンド面もしっかり意識しましょう！	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。	
受講生へのメッセージ	ルーディメンツをドラムでの演奏に反映させることによって表現力が大幅に向上します。継続してトレーニングしましょう！	

【使用教科書・教材・参考書】

1

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	DR GROOVE MAKING 1	必修選択	選択	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】スタンダードなリズムパターンにルーディメンツとコントロールを用いり、表現の可能性とタイム感の習得を目的とし、テクニックだけではなく各楽器のチューニングや奏法を学ぶことにより、常に音色も意識出来るようになる。

【実務者経験】故樋口宗孝氏from LOUDNESS・Ray Luzier氏from Koｙｎに師事。
バンドドラマー、ミュージカルやアーティストのバックミュージシャン、USJ等のテーマパークのパーカッショニスト等を経験し、専門卒業後はバンド活動を継続しつつ新たに母校にてレッスン等の講師業を始める。現在は現役バンドマンとして活躍中。

【到達目標】同じ曲でも表現方法が数多くあることを理解し、アプローチやタイム感、曲に合ったサウンドを追求する習慣を身に付ける事を目標とする。

授業計画・内容		
1週目	バウンスを利用した16ビートの実践	チューニングの重要性の理解
2週目	四肢分離トレーニング①	バスドラムのチューニングとミュート
3週目	四肢分離トレーニング②	バスドラムのチューニングとミュート
4週目	16ビートの実践	スネアのチューニングとスナッピーの調整
5週目	3連符を交えたビートの実践	スネアのチューニングとスナッピーの調整
6週目	16ビートにおけるゴーストノートパターンの実践	フロアドラムのチューニングとバスドラムの関係値
7週目	6/8拍子におけるゴーストノートパターンの実践	フロアドラムのチューニングとバスドラムの関係値
8週目	シャッフルビートの実践①	タムのチューニングとスネアの関係値
9週目	シャッフルビートの実践②	タムのチューニングとスネアの関係値
10週目	ハネのビートとそのハネ具合の変化の実践	ジャンル別・ドラムセット全体のチューニング
11週目	2ビート　リズムパターンの実践と解釈	ジャンル別・ドラムセット全体のチューニング
12週目	ラテンビート　リズムパターンの実践と解釈	ジャンル別・ドラムセット全体のチューニング
13週目	ワークショップ	
14週目	ワークショップ	
15週目	ワークショップ	
準備学習 時間外学習	ドラムでのトレーニングは、より実践に繋げられるようにサウンド面もしっかり意識しましょう！	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。	
受講生への メッセージ	ルーディメンツをドラムでの演奏に反映させることによって表現力が大幅に向上します。継続してトレーニングしましょう！	

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	ドラムコントロールセオリー CONTROL THEORY	必修選択	必須	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科・ドラムコース	授業形態	演習	総時間	60	開講区	前期

【授業の学習内容】
ドラムを演奏するのに必要不可欠なルーディメンツとコントロールの習得を目的とし、実際にドラムで演奏するときにどう反映するのかを理解する。

【実務者経験】
ルーディメンツとコントロールを習得していると曲の表現力が向上する

【到達目標】
ドラムを演奏するときに、ルーディメンツとコントロールが自然に反映されるようになる事を目標とする。

授業計画・内容	
1週目	グリップク・フォーム ・フィンガーコントロール
2週目	ダウン・アップ・タップストローク
3週目	フットワーク
4週目	16分音符・アクセント移動
5週目	3連符・アクセント移動
6週目	ダブル・トリプルストローク
7週目	5・6・7・9・11・13ストロークロール
8週目	5・7バズロール
9週目	シングルパラディドル
10週目	ダブル・トリプルパラディドル
11週目	フットワークを用いたパラディドル
12週目	フラム・ドラグ
13週目	アクセント移動を用いたフラム・ドラグ
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	ルーディメンツとコントロールの習得は意識して継続することが大切なので、常にスティックを触る習慣をつけましょう！
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	継続することでスティックがどんどん体の一部になってきます。その感覚を楽しんで身につけていきましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	ドラムコントロールセオリー CONTROL THEORY	必修選択	必須	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科・ドラムコース	授業形態	演習	総時間	60	開講区	後期

【授業の学習内容】ドラムを演奏するのに必要不可欠なルーディメンツとコントロールの習得を目的とし、実際にドラムで演奏するときにどう反映するのかを理解する。

【実務者経験】ルーディメンツとコントロールを習得していると曲の表現力が向上する

【到達目標】ドラムを演奏するときに、ルーディメンツとコントロールが自然に反映されるようになる事を目標とする。

授業計画・内容	
1週目	バウンスを利用したスティックコントロール(片手)
2週目	ストーンキラー「右4・左4」・「右8・左8」
3週目	ストーンキラー「右12・左12」・「右16・左16」
4週目	16分音符・アクセント移動(片手)
5週目	3連符・アクセント移動(片手)
6週目	4/4拍子において、ゴーストノートの解釈と理解
7週目	6/8拍子において、ゴーストノートの解釈と理解
8週目	トリプレットフィールの解釈と理解
9週目	シャッフルヒビートにおいて、ゴーストノートの解釈と理解
10週目	ハネた16ビートにおいて、ゴーストノートの解釈と理解
11週目	ルーディメンツのコンビネーション(N・A・R・D)
12週目	ルーディメンツのコンビネーション(N・A・R・D)
13週目	ワークショップ(海外研修)
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	ルーディメンツとコントロールの習得は意識して継続することが大切なので、常にスティックを触る習慣をつけましょう！
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	継続することでスティックがどんどん体の一部になってきます。その感覚を楽しんで身につけていきましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	Ds.テクニック&パフォーマンス Technic & Performance	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】
ルーディメンツなどのテクニックを的確にドラムセットに活用する方法を学ぶ

【実務者経験】
ラスベガスで日本人初の単独公演。ヨーロッパの国立オーケストラ、ブルガリア国立ソフィアフィルハーモニーとブルガリアで共演するなど国際的に活躍。ポニーキャニオン系列からデビュー。USJのドラマーとして活動。USJカウントダウンショー製作。Battle de Egg優勝。TV出演、片岡愛之助「夜の愛之助」/NHK「ゆく年くる年」/フジテレビ「ワケあり旅人に便乗してみました」。ナタリーエモンズ(ex.トリバゴ)日本初コンサート出演。

【到達目標】
自分が表現したい音楽にルーディメンツなどのテクニックを活用するアイディアを持てるようになる

授業計画・内容	
1週目	テクニックを活用するためのメンタルの持ち方
2週目	シングルストローク
3週目	ダブルストローク
4週目	パラディドル
5週目	パガダ
6週目	パラディドルディドル
7週目	ダブルパラディドル
8週目	～ストロークロール
9週目	スイスアーミー
10週目	5A、5C
11週目	7A、7C、7E
12週目	ポリリズム
13週目	自分だけのスペシャルフレーズを考えよう
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	手順の習得、テンポに合わせた演奏 自主的な準備、大歓迎！
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	授業で扱うことには知らないことや、初めてのことがあるかもしれません。 でも誰しもは最初は知らなかったことだらけ。 まずは知ることから始めて、自分のペースでコツコツと積み重ねましょう！時間をかければ必ずマスターできます！

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	Ds.テクニック&パフォーマンス Technic & Performance	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】
ルーディメンツなどのテクニックを的確にドラムセットに活用する方法を学ぶ

【実務者経験】
ラスベガスで日本人初の単独公演。ヨーロッパの国立オーケストラ、ブルガリア国立ソフィアフィルハーモニーとブルガリアで共演するなど国際的に活躍。ポニーキャニオン系列からデビュー。USJのドラマーとして活動。USJカウントダウンショー製作。Battle de Egg優勝。TV出演、片岡愛之助「夜の愛之助」/NHK「ゆく年くる年」/フジテレビ「ワケあり旅人に便乗してみました」。ナタリーエモンズ(ex.トリバゴ)日本初コンサート出演。

【到達目標】
自分が表現したい音楽にルーディメンツなどのテクニックを活用するアイディアを持てるようになる

授業計画・内容	
1週目	アクセント移動Basic Rhythm
2週目	ドラムライン、スティックトリック
3週目	Mixルーディメンツ1（シングル、ダブル、パラディドル）
4週目	Mix ルーディメンツ2（シングル、ダブル、パガダ、パラディドル）
5週目	Mix ルーディメンツ3（パラディドルディドル、ダブルパラディドルetc…）
6週目	Mixスティッキング1（16th note,6+6+4）
7週目	Mixスティッキング2（16th note,3+3+3+3+4）
8週目	Mixスティッキング3（16th note,5+5+3+3）
9週目	アクセント移動Advance Rhythm
10週目	Long Bars トレーニング1(3note)
11週目	Long Bars トレーニング2(5note)
12週目	Long Bars トレーニング(7note)
13週目	ワークショップ(海外研修)
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	手順の習得、テンポに合わせた演奏 自主的な準備、大歓迎！
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	授業で扱うことには知らないことや、初めてのことがあるかもしれません。 でも誰しもは最初は知らなかったことだらけ。 まずは知ることから始めて、自分のペースでコツコツと積み重ねましょう！時間をかければ必ずマスターできます！

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	ET1(Ear training 1)	必修選択	必修	年次	1,2年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	講義	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】
シンプルなダイアトニック・メロディー、リズム、2度と3度のインターバル、メジャー・トライアドとマイナー・トライアドなどの聴き取りや視唱を行い音感を養う。

【実務者経験】
'03年甲陽音楽学院ジャズピアノ科を首席で卒業。バークリー音楽大学主催ワールドスカラーシップツアーにて奨学金を獲得し'04年留学。初年度から卒業まで毎年、成績上位者リストであるDean's Listに掲載される。'06年同大学を首席で卒業。Jazz、Fusion、Latin、Funk、Gospelなど幅広いジャンルをこなし、特にリハーモニゼーションやコードの組み立てに定評がある。

【到達目標】
音を音名として認識する第一歩。音名を認識しそれを楽譜としてもかけるようになる事。

授業計画・内容	
1週目	▼メロディー：Do，Re ▼リズム：4分音符まで
2週目	▼メロディー：Do，Ti ▼リズム：4分音符まで
3週目	▼メロディー：Ti，Do，Re（音跳びなし・あり） ▼リズム：4分音符まで ▼インターバル練習：Major 2nd（長二度）／Minor 2nd（短二度）
4週目	▼メロディー：[Ti]，Do，Re，Mi（音跳びなし・あり） ▼リズム：4分休符 ▼インターバル練習：Major 2nd（長二度）／Minor 2nd（短二度）
5週目	▼メロディー：[Ti]，Do，Re，Mi，Fa（音跳びなし・あり） ▼リズム：4分休符 ▼インターバル練習：Major 3rd（長三度）／Minor 3rd（短三度）
6週目	▼メロディー：[Ti]，Do，Re，Mi，Fa（音跳びあり） ▼リズム：4分音符／4分休符 ▼インターバル練習：Major 3rd（長三度）／Minor 3rd（短三度）
7週目	▼メロディー：[Ti]，Do，Re，Mi，Fa，So（音跳びなし） ▼リズム：8分音符 ▼コード練習：Major Triad（長三和音）／Minor Triad（短三和音）＜基本形＞
8週目	▼メロディー：[Ti]，Do，Re，Mi，Fa，So（音跳びあり） ▼リズム：8分音符 ▼コード練習：Major Triad（長三和音）／Minor Triad（短三和音）＜基本形＞
9週目	▼メロディー：[Ti]，Do，Re，Mi，Fa，So，La（音跳びなし） ▼リズム：8分音符 ▼インターバル練習：2音・3音（復習）
10週目	▼メロディー：[Ti]，Do，Re，Mi，Fa，So，La（音跳びあり） ▼リズム：8分音符／8分休符 ▼インターバル練習：2音・3音（復習）
11週目	▼メロディー：[Ti]，Do，Re，Mi，Fa，So，La（音跳びなし） ▼リズム：8分音符／8分休符 ▼コード練習：Major Triad（長三和音）／Minor Triad（短三和音）＜基本形＞
12週目	▼メロディー：[La，Ti]，Do，Re，Mi，Fa，So，La，Ti（音跳びあり） ▼リズム：8分音符／8分休符 ▼インターバル練習：Major 2nd（長二度）／Minor 2nd（短二度）
13週目	▼メロディー：Do，Re，Mi，Fa，So，La，Ti，Do ▼リズム：8分音符・8分休符 ▼インターバル練習：Major 2nd（長二度）／Minor 2nd（短二度） ▼コード練習：Major Triad（長三和音）／Minor Triad（短三和音）＜基本形＞第1転回形・第2転回形
14週目	授業内試験
15週目	まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	毎回の授業での経験の積み重ねが最も重要。頑張りましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	ET2(Ear training 2)	必修選択	必修	年次	1,2年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	講義	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】
少し複雑なダイアトニックメロディー、リズム、5度までのインターバル、すべてのトライアドの聴き取りや視唱を行い、音感を磨いていく。

【実務者経験】
'03年甲陽音楽学院ジャズピアノ科を首席で卒業。バークリー音楽大学主催ワールドスカラーシップツアーにて奨学金を獲得し'04年留学。初年度から卒業まで毎年、成績上位者リストであるDean's Listに掲載される。'06年同大学を首席で卒業。Jazz、Fusion、Latin、Funk、Gospelなど幅広いジャンルをこなし、特にリハーモニゼーションやコードの組み立てに定評がある。

【到達目標】
音名を認識しそれを楽譜としてもかけるようになる事。

授業計画・内容	
1週目	▼メロディー Do,Re,Ti,Re,Do ▼リズム ▼インターバル m3,M2,m2
2週目	▼メロディー Do,Re,Mi,Re,Ti,Re,Do ▼リズム ▼コード：Triad（Major, Minor）＜基本形と転回形＞
3週目	▼メロディー Do,Re,Mi,Fa,Ti,Re,Do ▼リズム ▼インターバル M2,M3,P4,m2 −5
4週目	▼メロディー Do,Mi,Sol,Fa,Mi,Do,Ti,Re,Do ▼リズム ▼コード：7th Chord（Major 7th, Minor 7th）＜基本形と転回形＞
5週目	▼メロディー Do,Re,Mi,Fa,So,La,Ti,Do ▼リズム ▼インターバル m2,M2,M3,m3,P4,P5,M6
6週目	▼メロディー Do,Re,Mi,Fa,Sol,La,Ti,Do,Do,Sol,Mi,Fa,Re,Ti,Do ▼リズム ▼コード：Major 7th Chord＜Major 7thコードの転回形＞
7週目	▼メロディー Do,So,La,So,Do,Fa,Mi,Re,Do ▼リズム ▼インターバル m3,M2,m2
8週目	▼メロディー Do,So,La,Ti,Do,Sol,Fa,Re,Do ▼リズム ▼コード：Dominant 7th Chord＜Dominant 7thコードの転回形＞
9週目	▼メロディー Do,Re,Do,La,So,Fa,Mi,Ti,Do ▼リズム ▼インターバル m6,M6
10週目	▼メロディー 今まで習った内容から ▼メロディー／マイナー Do,Re,Me,Fa,Me,Re,Do ▼リズム ▼コード：Major 7th Chord＜Minor 7thコード＞
11週目	▼メロディー 今まで習った内容から ▼メロディー／マイナー Do,Re,Me,Fa,Sol,Le,Te,Do,Te,Le,Sol,Fa,Me,Re,Do ▼リズム ▼インターバル m2,M7,m3,M6,M3,m6,P4,m7
12週目	▼メロディー 今まで習った内容から ▼メロディー／マイナー Do,Me,Do,Sol,Fa,Sol,Le,Te,Do,Sol,Me,Te,Do ▼リズム ▼コード：今までに学習したコード
13週目	▼メロディー 今まで習った内容から ▼メロディー／マイナー 今まで習った内容から ▼リズム ▼インターバル m6,M2,m3,m7,M3
14週目	授業内試験
15週目	まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	毎回の授業での経験の積み重ねが最も重要。頑張りましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	Gtプライベートカウンセリング（Gt Private Counseling）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】授業前半に音階練習など基礎力の向上。後半は楽曲を使用してそれぞれの楽曲のグルーヴや実践的なアドリブ力の向上を目指す。

【実務者経験】中学よりキーボードでバンド活動を開始。高校卒業後、AN MUSIC SCHOOLにてギターを西野やすしに師事。在学中にヤマハPMS講師資格取得。サポートミュージシャンをはじめ楽曲提供、制作スタジオ「Studio PlusOne」の運営を行う。

【到達目標】ギターに求められるテクニックやアンサンブル内におけるプレイ内容の向上。

授業計画・内容	
1回目	・ギターにおける基本テクニックの習得と確認
2回目	・ペンタトニックスケールの説明と実践Ⅰ
3回目	・ペンタトニックスケールの説明と実践Ⅱ
4回目	・ペンタトニックスケールの常套フレーズの習得Ⅰ
5回目	・ペンタトニックスケールの常套フレーズの習得Ⅱ
6回目	・ブルースバッキングの習得Ⅰ
7回目	・ブルースバッキングの習得Ⅱ
8回目	・ブルース/ロックにおけるアドリブソロの学習Ⅰ
9回目	・ブルース/ロックにおけるアドリブソロの学習Ⅱ
10回目	・バッキング→①フィルインの説明と実践Ⅰ
11回目	②フィルインの説明と実践Ⅱ
12回目	③フィルインの説明と実践Ⅲ
13回目	ペンタトニックのアドリブソロとバッキングのまとめ
14回目	ワークショップ
15回目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	＜準備学習＞日常的に学校以外で様々な楽曲のコピー。 ＜時間外学習＞ジャムセッションなど授業で習得した技術を即実践。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	もちろん本人次第ではありますが、2年あればプロとして活動はできます！割とマジで。

【使用教科書・教材・参考書】
講師作成教材

科目名（英）	Gtプライベートカウンセリング（Gt Private Counseling）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】授業前半に音階練習など基礎力の向上。後半は楽曲を使用してそれぞれの楽曲のグルーヴや実践的なアドリブ力の向上を目指す。

【実務者経験】中学よりキーボードでバンド活動を開始。高校卒業後、AN MUSIC SCHOOLにてギターを西野やすしに師事。在学中にヤマハPMS講師資格取得。サポートミュージシャンをはじめ楽曲提供、制作スタジオ「Studio PlusOne」の運営を行う。

【到達目標】ギターに求められるテクニックやアンサンブル内におけるプレイ内容の向上。

授業計画・内容	
1回目	・ギターにおける応用テクニックの習得と確認Ⅰ
2回目	・ギターにおける応用テクニックの習得と確認Ⅱ
3回目	・ダイアトニックスケールの復習と実践Ⅰ
4回目	・ダイアトニックスケールの復習と実践Ⅱ
5回目	・ノンダイアトニックスケールの説明と実践Ⅰ
6回目	・ノンダイアトニックスケールの説明と実践Ⅱ
7回目	・ジャズブルースのバッキングの学習
8回目	・ジャズブルースのアドリブソロの学習Ⅰ
9回目	・ジャズブルースのアドリブソロとバッキングまとめ
10回目	・ジャズのバッキングの学習
11回目	・ジャズのアドリブソロの学習Ⅰ
12回目	・ジャズのアドリブソロとバッキングのまとめ
13回目	ワークショップ(海外研修)
14回目	ワークショップ
15回目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	＜準備学習＞日常的に学校以外で様々な楽曲のコピー。 ＜時間外学習＞ジャムセッションなど授業で習得した技術を即実践。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	もちろん本人次第ではありますが、2年あればプロとして活動はできます！割とマジで。

【使用教科書・教材・参考書】
講師作成教材

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	Gtプライベートカウンセリング（Gt Private Counseling）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】スマッシュルームプロジェクトで取得したテクニックを、更に細かいところまで追求していく。楽曲に対する理解力、スピード感、演奏力、精神力を更に鍛える。個人の技量に応じたレッスンを行う

【実務者経験】ギタリスト、音楽プロデューサーであり。音楽事務所「Smash Room」代表を務めている。「感情直結型ギタリスト」の名の元、独創感かつ存在感のあるギタープレイで独自のジャンルを築き上げる。阿部真央、miwa、D-LITE、いきものがかり、 ももいろクローバーZなどのサポートミュージシャンとして活躍中。

【到達目標】技術や精神力、コミュニケーション能力を向上させ、プロのサポートミュージシャン、スタジオミュージシャンとして、実践で活動できるようにする。

授業計画・内容	
1週目	課題曲「くちづけ」を予習ありで演奏。個人の技量に応じたレッスン。
2週目	課題曲「teke it eazy」を予習ありで演奏。個人の技量に応じたレッスン。
3週目	課題曲「my sweet darling」を予習ありで演奏。個人の技量に応じたレッスン。
4週目	課題曲「TwoPinkyRings」を予習ありで演奏。個人の技量に応じたレッスン。
5週目	課題曲「KATE」を予習ありで演奏。個人の技量に応じたレッスン。
6週目	課題曲「君に会いに行くよ」を予習ありで演奏。個人の技量に応じたレッスン。
7週目	課題曲「輝いて」を予習ありで演奏。個人の技量に応じたレッスン。
8週目	課題曲「夏祭り」を予習ありで演奏。個人の技量に応じたレッスン。
9週目	課題曲「flower」を予習ありで演奏。個人の技量に応じたレッスン。
10週目	課題曲「未来惑星」を予習ありで演奏。個人の技量に応じたレッスン。
11週目	課題曲「mado」を予習ありで演奏。個人の技量に応じたレッスン。
12週目	課題曲「眼底の川」を予習ありで演奏。個人の技量に応じたレッスン。
13週目	課題曲「Here There and Every where」を予習ありで演奏。個人の技量に応じたレッスン。
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	初見で演奏した課題曲を、次週までに徹底的にコピー、予習してきてもらう。 分からないことなど事前に質問できるようにまとめてもらう。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	音楽のミクロの世界まで追求していきますが、音楽にとって一番大事な大きな事を忘れないようにしていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	Gtプライベートカウンセリング（Gt Private Counseling）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】スマッシュルームプロジェクトで取得したテクニックを、更に細かいところまで追求していく。楽曲に対する理解力、スピード感、演奏力、精神力を更に鍛える。個人の技量に応じたレッスンを行う

【実務者経験】ギタリスト、音楽プロデューサーであり。音楽事務所「Smash Room」代表を務めている。「感情直結型ギタリスト」の名の元、独創感かつ存在感のあるギタープレイで独自のジャンルを築き上げる。阿部真央、miwa、D-LITE、いきものがかり、 ももいろクローバーZなどのサポートミュージシャンとして活躍中。

【到達目標】技術や精神力、コミュニケーション能力を向上させ、プロのサポートミュージシャン、スタジオミュージシャンとして、実践で活動できるようにする。

授業計画・内容	
1週目	課題曲「キラリフタリ」を予習ありで演奏。個人の技量に応じたレッスン。
2週目	課題曲「忘却の空」を予習ありで演奏。個人の技量に応じたレッスン。
3週目	課題曲「ふわり」を予習ありで演奏。個人の技量に応じたレッスン。
4週目	課題曲「罪と罰」を予習ありで演奏。個人の技量に応じたレッスン。
5週目	課題曲「Tales」を予習ありで演奏。個人の技量に応じたレッスン。
6週目	課題曲「orange」を予習ありで演奏。個人の技量に応じたレッスン。
7週目	課題曲「1−3の純情な感情」を予習ありで演奏。個人の技量に応じたレッスン。
8週目	課題曲「ソラシド～ねえねえ～」を予習ありで演奏。個人の技量に応じたレッスン。
9週目	課題曲「Blue」を予習ありで演奏。個人の技量に応じたレッスン。
10週目	課題曲「0時の連鎖 」を予習ありで演奏。個人の技量に応じたレッスン。
11週目	課題曲「雪に書いたLOVE LETTER」を予習ありで演奏。個人の技量に応じたレッスン。
12週目	課題曲「オマエなんか大嫌い!」を予習ありで演奏。個人の技量に応じたレッスン。
13週目	ワークショップ（海外研修）
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	初見で演奏した課題曲を、次週までに徹底的にコピー、予習してきてもらう。 分からないことなど事前に質問できるようにまとめてもらう。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	音楽のミクロの世界まで追求していきますが、音楽にとって一番大事な大きな事を忘れないようにしていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	Gtテクニック&パフォーマンス（Technique & Performance）	必修選択	必修	年次	1,2年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】
8ビート、シャッフル、16ビート、6/8、などの基本的なリズムに乗せて演奏する。ジャンルに応じて
音作りも研究する。

【実務者経験】
甲陽音楽学院エレキギター専攻を卒業後、バークリー音楽大学へ留学。 在学中はGuitar Department Achievement Award(同大学ギター部門最優秀賞)を受賞。 帰国した現在はロック、JAZZ、フブラジリアンを中心とした音楽で、関西を中心にライヴやレコーディングで活躍中。

【到達目標】
しっかりとしたリズムで演奏でき、ジャンルに応じた効果的なエフェクターの使い方、音作りなど、パフォーマンスに必要な技術を身に着ける。

授業計画・内容	
1週目	イントロダクション。運指のトレーニング。指板の音を把握する。
2週目	8ビートの課題説明。音作りの説明。
3週目	8ビートの課題曲実習。
4週目	8ビートの課題曲実習。
5週目	シャッフルの課題説明。音作りの説明。
6週目	シャッフルの課題曲実習。
7週目	シャッフルの課題曲実習。
8週目	16ビートの課題説明。音作りの説明。
9週目	16ビートの課題曲実習。
10週目	16ビートの課題曲実習。
11週目	6/8の課題説明。
12週目	swingなど他のリズム紹介。
13週目	課題曲を選んで授業内発表。
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	必ずクリックにあわせて復習すること。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	リズム楽器としてしっかりとしたリズムを身に着けて、ギターに要求されるテクニックをかっこよく弾けるようになりましょう。

【使用教科書・教材・参考書】 テキストなし。 授業内でプリント配布。

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	Gtテクニック&パフォーマンス（Technique & Performance）	必修選択	必修	年次	1,2年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】シャッフルのリズムを習得する、前期で学んだことを応用して、楽譜を見て自分たちでバッキングを作れるようになることを目指す。

【実務者経験】
甲陽音楽学院エレキギター専攻を卒業後、バークリー音楽大学へ留学。在学中はGuitar Department Achievement Award(同大学ギター部門最優秀賞)を受賞。帰国した現在はロック、JAZZ、フブラジリアンを中心とした音楽で、関西を中心にライヴやレコーディングで活躍中。

【到達目標】リードシートを見て基本的なジャンルの伴奏、ソロを作れるようになることを目指す。

授業計画・内容	
1週目	8ビート、16ビート、でタイがついたりシンコペーションしたパターンの説明、実習。
2週目	8ビート、16ビート、でタイがついたりシンコペーションしたパターンの説明、実習。
3週目	シャッフルに向けて三連符の説明、トレーニングを実習。
4週目	シャッフルに向けて三連符の説明、トレーニングを実習。
5週目	シャッフルの課題曲説明、実習。
6週目	シャッフルの課題曲発表。
7週目	8ビート、16ビートの新しい課題曲説明。エフェクターの切り替えなど。
8週目	8ビート、16ビート課題曲発表。
9週目	リードシートを読む実習。
10週目	バッキング、ソロを作る実習。
11週目	授業内発表。
12週目	授業内発表。
13週目	ワークショップ(海外研修)
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	必ずクリックにあわせて復習すること。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	リズム楽器としてしっかりとしたリズムを身に着けて、ギターに要求されるテクニックをかっこよく弾けるようになりましょう。

【使用教科書・教材・参考書】 テキストなし。 授業内でプリント配布。

科目名（英）	ハーモニックコンセプト（Harmonic Concept）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】コード・ボイシングをギタリストの目線で学び、和音のセンスを磨く。

【実務者経験】中学よりキーボードでバンド活動を開始。高校卒業後、AN MUSIC SCHOOLにてギターを西野やすしに師事。在学中にヤマハPMS講師資格取得。サポートミュージシャンをはじめ楽曲提供、制作スタジオ「Studio PlusOne」の運営を行う。

【到達目標】的確な演奏力、音楽理論の習得

授業計画・内容	
1回目	・CAGEDシステム／各コードフォームの理解
2回目	アンサンブルを想定した各ジャンル毎の伴奏タイプの説明と実践／①ポップス(バラード)→アルペジオ、4finge
3回目	②ポップス(フォーク)Ⅰ →アフタービートのカッティング、ハイポジションでのアルペジオ
4回目	③ポップス(フォーク)Ⅱ →top noteを意識したアルペジオ、アンサンブルを前提とした役割分担
5回目	④ロック(funk)→カッティング、アルペジオ
6回目	⑤ロック(J-Pop)→ミュート,ストローク、アルペジオ、オクターブ、リフの絡ませ方
7回目	⑥ロック(Metal)→16分ミュート、3度のインターバルでのハモリ
8回目	⑦ロック(HardRock)→ペンタトニックを使用したリフの作り方、 m3rd、♭7thの使い方
9回目	⑧ロック(R&R)→6th、♭7thの伴奏、カッティング
10回目	⑨ブルース(シャッフル)→6th、♭7thの伴奏、リフ
11回目	⑩ブルース(スローブルース)→9th、♭7thの伴奏、スライド、ダブルストップ
12回目	11)ボサノヴァ→各9th、各13thの伴奏、ボイシング
13回目	12)ジャズ(4beat)→コンピング、ウォーキングベース
14回目	ワークショップ
15回目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	＜準備学習＞シンプルな開放弦を使用したオープンコードを理解すればCAGEDシステムも同時に理解できるので簡単なコードは事前に分かっていた方が良い。そのほかにはとにかく色んなジャンルの音楽を聞き流すだけで良いので耳に入れること。 ＜時間外学習＞アンサンブルで実践してみたり、仲間内でジャムセッションを繰り返す。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	ギターソロを弾いている時間は長くて1分ほど。 楽曲の大半は伴奏をしているのでギターはそもそも伴奏楽器です。 伴奏が上手な人はソロも上手くなるという通説があるので頑張りましょう！

【使用教科書・教材・参考書】
教科書、講師作成教材

科目名（英）	ハーモニックコンセプト（Harmonic Concept）	必修選択	必修	年次	1,2年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】コード・ボイシングをギタリストの目線で学び、和音のセンスを磨く。

【実務者経験】中学よりキーボードでバンド活動を開始。高校卒業後、AN MUSIC SCHOOLにてギターを西野やすしに師事。
在学中にヤマハPMS講師資格取得。サポートミュージシャンをはじめ楽曲提供、制作スタジオ「Studio PlusOne」の運営を行う。

【到達目標】的確な演奏力、音楽理論の習得

授業計画・内容	
1回目	・オンコードのボイシングの理解と実践Ⅰ(3声)
2回目	・オンコードのボイシングの理解と実践Ⅱ(4声)
3回目	・オンコードのボイシングの理解と実践Ⅲ(クリシェ)
4回目	・sus4、m7♭5の理解と実践
5回目	・dim、augの理解と実践
6回目	・テンションノートⅠ(9th系)の理解と実践
7回目	・テンションノートⅡ(♭9th系)の理解と実践
8回目	・開放弦を使ったオープンハイコードの理解と実践
9回目	・ドロップボイシング→①drop2(Major7th)
10回目	②drop3(Major7th)
11回目	③drop2(minor7th、7th)
12回目	④drop3(minor7th、7th)
13回目	ワークショップ(海外研修)
14回目	ワークショップ
15回目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	＜準備学習＞フレット上の音名は確実に覚えているようにすること。同時に度数でも覚えておくとベター。 ＜時間外学習＞アンサンブルで実践してみたり、仲間内でジャムセッションを繰り返す。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	ギターソロを弾いている時間は長くて1分ほど。 楽曲の大半は伴奏をしているのでギターはそもそも伴奏楽器です。 伴奏が上手な人はソロも上手くなるという通説があるので頑張りましょう！

【使用教科書・教材・参考書】
教科書、講師作成教材

科目名（英）	メロディックコンセプト（Melodic Concept）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】ソロプレイに必要な指の分離、スケール、アルペジオ、エクササイズを実施。読譜を用いて基礎の部分を学び、記譜された音楽に対する順応力を高め、初見能力の基礎として学ぶ。

【実務者経験】中学よりキーボードでバンド活動を開始。高校卒業後、AN MUSIC SCHOOLにてギターを西野やすしに師事。
在学中にヤマハPMS講師資格取得。サポートミュージシャンをはじめ楽曲提供、制作スタジオ「Studio PlusOne」の運営を行う。

【到達目標】ソロ、アドリブに必要なテクニックの取得、トレーニング、スケール、アルペジオの知識と実践を行う。

授業計画・内容	
1回目	マイナーペンタトニックスケールの音階の確認と特性音を活かした即興演奏
2回目	7つあるポジション毎の練習→①Fリディアンスケールポシジョンの音階の確認／特性音を活かした即興演奏
3回目	②Gミクソリディアンスケールポジションの音階の確認／特性音を活かした即興演奏
4回目	③Aエオリアンスケールポジションの音階の確認／特性音を活かした即興演奏
5回目	④Bロクリアンスケールポジションの音階の確認／特性音を活かした即興演奏
6回目	⑤Cイオニアンスケールポジションの音階の確認／特性音を活かした即興演奏
7回目	⑥Dドリアンスケールポジションの音階の確認／特性音を活かした即興演奏
8回目	⑦Eフリジアンスケールポジションの音階の確認／特性音を活かした即興演奏
9回目	・音階の展開(横移動)①F、G、A、Bのスケールをまたぐブロークンポジションでの即興演奏
10回目	②A、B、C、Dのスケールをまたぐブロークンポジションでの即興演奏
11回目	③C、D、E、Fのスケールをまたぐブロークンポジションでの即興演奏
12回目	④E、F、G、Aのスケールをまたぐブロークンポジションでの即興演奏
13回目	・ダイアトニック内での様々なコード進行でのアプローチ
14回目	ワークショップ
15回目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	＜準備学習＞音階のポジションは7個しかないので毎日1つやっても一週間で完成する。 毎日5分でも音階練習することで段違いに理解度が増す。日常のウォーミングアップとしてスケール練習を使用すると一石二鳥。 ＜時間外学習＞一つのキーで覚えたら違うキーでも行う。ex)キーがCのイオニアンを覚えたらキーをGに変えて行う等。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	音楽の三大要素「リズム」「メロディ」「ハーモニー」の中のメロディを奏でるためには音階を知らないとできません。ドレミを弾けないピアニストはいないが、弾けないギタリストは多い。音階は会話するためのアルファベットを覚えるようなものです。そこから単語(フレーズ)などを覚えて世界中の人と自分の言葉(音楽)で会話(セッション)できるようにしましょう！

【使用教科書・教材・参考書】
教科書。オリジナル教材のプリントを配布。

科目名（英）	メロディックコンセプト（Melodic Concept）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】ソロプレイに必要な指の分離、スケール、アルペジオ、エクササイズを実施。読譜を用いて基礎の部分を学び、記譜された音楽に対する順応力を高め、初見能力の基礎として学ぶ。

【実務者経験】中学よりキーボードでバンド活動を開始。高校卒業後、AN MUSIC SCHOOLにてギターを西野やすしに師事。　在学中にヤマハPMS講師資格取得。サポートミュージシャンをはじめ楽曲提供、制作スタジオ「Studio PlusOne」の運営を行う。

【到達目標】ソロ、アドリブに必要なテクニックの取得、トレーニング、スケール、アルペジオの知識と実践を行う。

授業計画・内容	
1回目	・3種のマイナースケールの説明／①ナチュナルマイナースケールの音階の確認／特性音を活かした即興演奏
2回目	②ハーモニックマイナースケールの音階の確認／特性音を活かした即興演奏
3回目	③メロディックマイナースケールの音階の確認／特性音を活かした即興演奏
4回目	・セカンダリードミナントの攻略Ⅰ→3種の♭9th系のスケールの説明と実演
5回目	①HmP5↓の音階の確認／特性音を活かした即興演奏
6回目	②オルタードスケールの音階の確認／特性音を活かした即興演奏
7回目	③コンビネーションディミニッシュスケールの音階の確認／特性音を活かした即興演奏
8回目	・セカンダリードミナントの攻略Ⅱ→3種の9th系のスケールの説明と実演／①ミクソリディアンスケール
9回目	②ディミニッシュスケールの音階の確認／特性音を活かした即興演奏
10回目	③ホールトーンスケールの音階の確認／特性音を活かした即興演奏
11回目	・セカンダリードミナントを交えた様々なコード進行でのアプローチⅠ
12回目	・セカンダリードミナントを交えた様々なコード進行でのアプローチⅡ
13回目	ワークショップ(海外研修)
14回目	ワークショップ
15回目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	＜準備学習＞現段階では音楽理論との差が生じてしまうのでベーシックとなるペンタトニックやナチュラルマイナー、ミクソリディアンを反復しておく。そうすると2～3個音を変えるだけで様々な音階にトライできるので基本スケールをしっかり把握しておく。 ＜時間外学習＞一つのキーで覚えたら違うキーでも行う。ex)キーがCのオルタードを覚えたらキーをGに変えて行う等。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	音楽の三大要素「リズム」「メロディ」「ハーモニー」の中のメロディを奏でるためには音階を知らないとできません。ドレミを弾けないピアニストはいないが、弾けないギタリストは多い。音階は会話するためのアルファベットを覚えるようなものです。そこから単語(フレーズ)などを覚えて世界中の人と自分の言葉(音楽)で会話(セッション)できるようにしましょう！

【使用教科書・教材・参考書】
教科書。オリジナル教材のプリントを配布。

科目名（英）	IEP Intensive English Proglam	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	講義	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】
外国人を前に怖がったり恥ずかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。

【実務者経験】
・John Nolan（ジョン・ノーラン）：1991年から現在まで、大阪外語専門学校や大阪市立大学、ILC国際語学センター等で英会話講師に携わっている。

【到達目標】
英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションが出来るようになる。

授業計画・内容	
1回目	初対面のあいさつやお別れの会話が出来る。
2回目	自己紹介や他己紹介などが出来る。
3回目	好き嫌いや好みについての会話が出来る。
4回目	意見を尋ねたり述べることが出来る。お誘いを受けた際の返答が出来る。
5回目	人を褒める＆褒められた際の会話が出来る。洋服に関して話すことが出来る。
6回目	習慣について話したり質問できる。補足質問が出来る。
7回目	道案内や場所を尋ねることが出来る。
8回目	ショッピング関連（金額等）について聞いたり話すことが出来る。
9回目	食べ物について話したり、レストランで注文が出来るようになる。
10回目	過去の出来事について聞いたり話すことが出来る。
11回目	Can introduce, ask about and react to news
12回目	未来について聞いたり話すことが出来る。
13回目	ワークショップ(海外研修)
14回目	ワークショップ
15回目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	事前に単語などの予習をしておきましょう。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	皆さんは既にたくさんの英語を知っています。英語を話せるように、一緒に頑張りましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	IEP Intensive English Proglam	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	講義	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】
外国人を前に怖がったり恥ずかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。

【実務者経験】
・John Nolan（ジョン・ノーラン）：1991年から現在まで、大阪外語専門学校や大阪市立大学、ILC国際語学センター等で英会話講師に携わっている。

【到達目標】
英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションが出来るようになる。

授業計画・内容	
1回目	比較について話すことが出来る。
2回目	依頼をすることが出来る。
3回目	過去形復習、休暇について話すことが出来る。
4回目	生態学やペットケアについての語彙を広げることが出来る。
5回目	ペットについての読み物を理解出来る。
6回目	伝達手段について話すことが出来る。
7回目	動物のケアに関する読み物を理解出来る。
8回目	語彙の意味や内容を推測することが出来る。
9回目	クリスマスや新年についての話が出来る。
10回目	未来や計画について推測することが出来る。
11回目	写真について話したり推測することが出来る。
12回目	復習、インタビュー練習
13回目	ワークショップ（海外研修）
14回目	ワークショップ
15回目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	事前に単語などの予習をしておきましょう。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	皆さんは既にたくさんの英語を知っています。英語を話せるように、一緒に頑張りましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	Keyテクニック&パフォーマンス（Technique & Performance）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	演習	総時間（単位）	60	開講区分 曜日・時間	前期

【授業の学習内容】パフォーマンスで重要なリズム感とそれをどのように練習すれば良いのか？旋律についても調性など音楽の仕組みを根拠のある演奏も出来るようになる事。

【実務者経験】5歳よりクラシックピアノをはじめる。大学を卒業後、甲陽音楽学院に入学。ピアノをフィリップストレンジ氏に、理論・アレンジを荒崎英一郎氏に師事。その後、25歳からポップス・ジャズ・フュージョンなどでプロとしての音楽活動に入る。ライブハウス・スタジオでの演奏活動に加え、TVでの録音やテーマパークの楽曲アレンジ制作などの分野で活躍中。MIDI検定1級所持。

【到達目標】必要な基本的なスケール、コードワーク、リズムについて楽曲を加えながら学びます。キーボーディストに要求される基本的奏法やリーディング、ジャンル等に対応したどこの場所でも必要とされるプレイスタイルを学ぶ。

授業計画・内容	
1週目	授業の進め方の説明、パフォーマンスにおけるリズムの重要性
2週目	メジャスケールを使った裏拍の演奏
3週目	ペンタトニック使ったフレーズとリズム
4週目	3コードを使ったバッキングとアドリブ keyCメジャー
5週目	3コードを使ったバッキングとアドリブ keyGメジャー
6週目	ブルースの形式の理解と演奏　3コード　Aマイナー
7週目	マイナー3コード（AbM7 G7 Cm7）Cマイナー場でのリズムパフォーマンスとアドリブ
8週目	循環コード（KeyC&F)でのリズムバッキングパフォーマンス
9週目	循環コードなど（KeyC&F)でのリズムバッキングパフォーマンス
10週目	チャーチモードの説明　ドリアン
11週目	チャーチモードの実践　ミクソリディアン
12週目	転調についていく方法
13週目	前期のまとめ
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	一緒に頑張りましょう！

【使用教科書・教材・参考書】
講師オリジナル楽譜

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	Keyテクニック&パフォーマンス（Technique & Performance）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	演習	総時間（単位）	60	開講区分 曜日・時間	後期

【授業の学習内容】前期で説明として学んだ事を実際の演奏の中でどう組み合わし、考えて行くのかを実際の楽曲やコード進行を使用し演習して行くことが中心となる。

【実務者経験】5歳よりクラシックピアノをはじめる。大学を卒業後、甲陽音楽学院に入学。ピアノをフィリップストレンジ氏に、理論・アレンジを荒崎英一郎氏に師事。その後、25歳からポップス・ジャズ・フュージョンなどでプロとしての音楽活動に入る。ライブハウス・スタジオでの演奏活動に加え、TVでの録音やテーマパークの楽曲アレンジ制作などの分野で活躍中。MIDI検定１級所持。

【到達目標】必要な基本的なスケール、コードワーク、リズムについて楽曲を加えながら学びます。キーボーディストに要求される基本的奏法やリーディング、ジャンル等に対応したどこの場所でも必要とされるプレイスタイルを学ぶ。

授業計画・内容		
1週目	前期の確認と今後の授業説明	授業の進め方の説明と復習
2週目	ペンタトニック、ブルース	Rockブルース keyG（フレーズ、リズムなどの演習）
3週目	ペンタトニック、ブルース	Rockブルース keyA（フレーズ、リズムなどの演習）
4週目	ペンタトニック、ブルース	Rockブルース keyE（フレーズ、リズムなどの演習）
5週目	ブルーノートスケール、JAZZブルース	JAZZブルースKeyF (Bille's Bounceなど）
6週目	ブルーノートスケール、JAZZブルース	JAZZブルースKeyF (Bille's Bounceなど）、4バースなどへの対応
7週目	ブルースとツーファイブワン	少し複雑にリハーモナイズされたブルースについて。説明と演習
8週目	ブルースとツーファイブワン	少し複雑にリハーモナイズされたブルースについて。演習
9週目	マイナー　ツーファイブワン	マイナー曲（Blue Bossaなど）内で使用するスケールと転調の説明と演習
10週目	マイナー　ツーファイブワン	マイナー曲（Blue Bossaなど）で演習
11週目	ポップス	バンドとデュオでの演奏の違いなど。
12週目	ポップス	イントロとエンディング１　パターン説明と演習
13週目	ワークショップ(海外研修)	
14週目	ワークショップ	
15週目	ワークショップ	
準備学習 時間外学習		
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。	
受講生へのメッセージ	一緒に頑張りましょう！	

【使用教科書・教材・参考書】
講師オリジナル楽譜

科目名（英）	ハーモニックコンセプト Harmonic Concept	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分 曜日・時間	前期

【授業の学習内容】
コードプログレッション(理論)

18歳の時、ヤマハエレクトーンコンクール地区大会にて金賞を受賞。
同時期にバンドに興味を持ちだしピアノを始め、ヤマハ音楽院大阪 コンテンポラリーピアノ&キーボード科に入学。
在学当時からプロ活動を開始する。在学中にNYに渡り、第一線で活躍中のミュージシャンと数々のセッションライブを行う。
その後も何度か渡米し、現地でライブ、レコーディング等にも参加。Funk、R&B、NeoSoul、Gospel、Jazz等ブラックミュージックを得意とし、TV出演、メジャーアーティストのサポート、プロデュース、セッションホストやレコーディング、楽曲提供と幅広く活動中。

【到達目標】
理論を通してプレイ、コンポーズ等のスキルアップ

授業計画・内容	
1週目	基礎的な音楽理論
2週目	トライアドコード・テトラード
3週目	ダイアトニックスケール、コード
4週目	コードファンクション
5週目	サブドミナントマイナー・ドミナントモーション
6週目	サークル・オブ・ファフス
7週目	セカンダリードミナント
8週目	コードトーン・ノンコードトーン
9週目	テンションノート
10週目	アヴォイド・ノート
11週目	スケール全般
12週目	アッパーストラクチャー
13週目	前期総まとめ
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	Any keyでの復習等
評価方法	出席率：40% 授業態度（積極的、主体的であるか）：30% 発表会実技：30%
受講生へのメッセージ	頭で理解しアウトプットすべし！

【使用教科書・教材・参考書】
キボードファンタメンタル他

科目名（英）	ハーモニックコンセプト Harmonic Concept	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分 曜日・時間	後期

【授業の学習内容】
コードプログレッション(理論)

18歳の時、ヤマハエレクトーンコンクール地区大会にて金賞を受賞。
同時期にバンドに興味を持ちだしピアノを始め、ヤマハ音楽院大阪 コンテンポラリーピアノ&キーボード科に入学。
在学当時からプロ活動を開始する。在学中にNYに渡り、第一線で活躍中のミュージシャンと数々のセッションライブを行う。
その後も何度か渡米し、現地でライブ、レコーディング等にも参加。Funk、R&B、NeoSoul、Gospel、Jazz等ブラックミュージックを得意とし、TV出演、メジャーアーティストのサポート、プロデュース、セッションホストやレコーディング、楽曲提供と幅広く活動中。

【到達目標】
理論を通してプレイ、コンポーズ等のスキルアップ

授業計画・内容	
1週目	前期振り返り
2週目	課題曲
3週目	課題曲1(おさらい)
4週目	課題曲
5週目	課題曲(おさらい)
6週目	課題曲
7週目	課題曲(おさらい)
8週目	課題曲
9週目	課題曲(おさらい)
10週目	課題曲
11週目	課題曲(おさらい)
12週目	1年間のおさらい
13週目	ワークショップ(海外研修)
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	Any keyでの復習等
評価方法	出席率：40% 授業態度（積極的、主体的であるか）：30% 発表会実技：30%
受講生へのメッセージ	頭で理解しアウトプットすべし！

【使用教科書・教材・参考書】
キボードファンタメンタル他

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	メロディックコンセプト（Melodic Concept）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分 曜日・時間	前期

【授業の学習内容】
仮曲、楽曲を通してスケール等の理解

18歳の時、ヤマハエレクトーンコンクール地区大会にて金賞を受賞。
同時期にバンドに興味を持ちだしピアノを始め、ヤマハ音楽院大阪 コンテンポラリーピアノ&キーボード科に入学。
在学当時からプロ活動を開始する。在学中にNYに渡り、第一線で活躍中のミュージシャンと数々のセッションライブを行う。
その後も何度か渡米し、現地でライブ、レコーディング等にも参加。Funk、R&B、NeoSoul、Gospel、Jazz等ブラックミュージックを得意とし、TV出演、メジャーアーティストのサポート、プロデュース、セッションホストやレコーディング、楽曲提供と幅広く活動中。

【到達目標】
キーボードディストとしてのトータルスキル向上

授業計画・内容	
1週目	Ⅱm7－Ⅴ7－Ⅰ－Ⅵ7 コードバッキング・アドリブ
2週目	ペンタトニック・スケール
3週目	マイナーペンタトニックスケール
4週目	楽曲A(JAZZ)を使ってアドリブ
5週目	楽曲B(Funk)を使ってアドリブ
6週目	リディアンスケールの理解
7週目	リディアンスケールのアドリブ(Any key)
8週目	ドリアンスケールの理解
9週目	ドリアンスケールのアドリブ(Any key)
10週目	オルタードスケールのアドリブ理解
11週目	オルタードスケールのアドリブ(Any key)
12週目	コンディミスケールの理解
13週目	コンディミスケールのアドリブ(Any key)
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	Any keyでの復習
評価方法	出席率：40% 授業態度（積極的、主体的であるか）：30% 発表会実技：30%
受講生へのメッセージ	最終的にスケールを考えずに自然に弾ければBetter！

【使用教科書・教材・参考書】
特になし

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	メロディックコンセプト（Melodic Concept）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分 曜日・時間	前期

【授業の学習内容】
仮曲、楽曲を通してスケール等の理解

18歳の時、ヤマハエレクトーンコンクール地区大会にて金賞を受賞。
同時期にバンドに興味を持ちだしピアノを始め、ヤマハ音楽院大阪 コンテンポラリーピアノ&キーボード科に入学。
在学当時からプロ活動を開始する。在学中にNYに渡り、第一線で活躍中のミュージシャンと数々のセッションライブを行う。
その後も何度か渡米し、現地でライブ、レコーディング等にも参加。Funk、R&B、NeoSoul、Gospel、Jazz等ブラックミュージックを得意とし、TV出演、メジャーアーティストのサポート、プロデュース、セッションホストやレコーディング、楽曲提供と幅広く活動中。

【到達目標】
キーボードディストとしてのトータルスキル向上

授業計画・内容	
1週目	前期振り返り
2週目	課題曲
3週目	課題曲1(おさらい)
4週目	課題曲
5週目	課題曲(おさらい)
6週目	課題曲
7週目	課題曲(おさらい)
8週目	課題曲
9週目	課題曲(おさらい)
10週目	課題曲
11週目	課題曲(おさらい)
12週目	1年間のおさらい
13週目	ワークショップ(海外研修)
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	Any keyでの復習
評価方法	出席率：40% 授業態度（積極的、主体的であるか）：30% 発表会実技：30%
受講生へのメッセージ	最終的にスケールを考えずに自然に弾ければBetter！

【使用教科書・教材・参考書】
特になし

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	MT1(Music Theory 1)	必修選択	必修	年次	1,2年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	講義	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】
音楽理論の勉強を進めていく上で必要な音楽の基礎知識を習得する。

【実務者経験】
大学を卒業後、甲陽音楽学院に入学。ピアノをフィリップストレンジ氏に、理論・アレンジを荒崎英一郎氏に師事。その後、25歳からポップス・ジャズ・フュージョンなどでプロとしての音楽活動に入る。ライブハウス・スタジオでの演奏活動に加え、TVでの録音やテーマパークの楽曲アレンジ制作などの分野で活躍中。MIDI検定１級所持。

【到達目標】
ハーモニーの学習を進めてゆくために必要な基本的な知識（ダイアトニックスケール、調号、調関係、インターバル、三和音、四和音など）を学び、身につける。

授業計画・内容	
1週目	ダイアトニック・スケール（メジャー・スケールとマイナー・スケール）
2週目	ダイアトニック・スケール（メジャー・スケールとマイナー・スケール）
3週目	調号、五度圏、調関係
4週目	調号、五度圏、調関係
5週目	インターバル（度数）
6週目	インターバル（インターバルを特定する名称）
7週目	インターバルの読み書き練習
8週目	インターバルの転回、単音程と複音程
9週目	インターバルのまとめと演習
10週目	コードとコードネーム（トライアド）
11週目	コードとコードネーム（セブンス・コード）
12週目	コードとコードネーム（その他のコードと転回形）
13週目	コードとコードネーム（その他のコードと転回形）
14週目	授業内試験
15週目	まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	基礎とは言え、中身がとても濃い授業で覚える事がたくさんあり今後役に立つことばかりで楽しいです。コツコツ休まず頑張る事が一番重要です。頑張ろう！

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	MT1(Music Theory 1)	必修選択	必修	年次	1,2年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	講義	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】
作曲やアドリブを考えて行えるようになる為の第一歩となる知識の習得。

【実務者経験】
大学を卒業後、甲陽音楽学院に入学。ピアノをフィリップストレンジ氏に、理論・アレンジを荒崎英一郎氏に師事。その後、25歳からポップス・ジャズ・フュージョンなどでプロとしての音楽活動に入る。ライブハウス・スタジオでの演奏活動に加え、TVでの録音やテーマパークの楽曲アレンジ制作などの分野で活躍中。MIDI検定１級所持。

【到達目標】
ダイアトニックハーモニーを中心としたコードプログレッションの基本を学び、アナライズの方法やコードスケールを学び、知識を身につける。

授業計画・内容	
1週目	メジャーのダイアトニックコード
2週目	メジャーのダイアトニックコード
3週目	コードスケール
4週目	コードスケール
5週目	ケーデンス、ドミナントレゾリューション、セカンダリードミナント
6週目	ケーデンス、ドミナントレゾリューション、セカンダリードミナント
7週目	Ⅱ－Ⅴ、リレイテッドⅠim7、ディセプティブレゾリューション
8週目	Ⅱ－Ⅴ、リレイテッドⅠim7、ディセプティブレゾリューション、ハーモニックリズム
9週目	Ⅱ－Ⅴ、リレイテッドⅠim7、ディセプティブレゾリューション
10週目	マイナーのダイアトニックコード
11週目	マイナーのダイアトニックコード
12週目	ブルース
13週目	ボイスリーディング
14週目	授業内試験
15週目	まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	休まないように！一緒に頑張っていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	Sax PC(Saxophone private counseling)	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】
基本的なアドリブができるように、音色、フレーズ等を考えていきます。

【実務者経験】幼少の頃より、父・古谷充の影響で音楽の基礎とピアノを学ぶ。
ジャズ・サックスを赤松二郎、奥田章三、宗清洋、理論を田中克彦に師事。'98年3月アルバム「KHAMSIN」をリリース。'97年12月アトランタ、'98年9月GJOでモンタレイ・ジャズ・フェスティバル、'04～'06年IAJEなどに参加。ほか「est−1」CMソング、「パワフルプロ野球」OPテーマ提供。円広志のセッションレコーディングにも参加。

【到達目標】
アドリブの基本となる、音色（キャラクター）、フレーズを習得する。

授業計画・内容	
1週目	演奏レベルのチェック、後プラン作成
2週目	基礎的な演奏（ロングトーン、スケール等）
3週目	基礎的な演奏（ロングトーン、スケール等）
4週目	基礎的な演奏２（インターバル等）
5週目	基礎的な演奏２（インターバル等）
6週目	II-V-Iフレーズ
7週目	上記と同様
8週目	上記と同様
9週目	上記と同様
10週目	上記と同様
11週目	上記と同様
12週目	上記と同様
13週目	上記と同様
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	自分のアイドル（あこがれの的）プレイヤーを決め、ずっと聴いていて下さい。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	ポピュラー音楽（JAZZも含む）を演奏する以上、アドリブはどうしても付きまといます。 自分で、コードを読みアドリブができように頑張って欲しいです。 お笑いの「ボケ・ツッコミ」のように、頭ではなく身体で反応できるように頑張ってください。

【使用教科書・教材・参考書】
参考楽曲は、自分で決めたアイドル（あこがれの的）を徹底的に聴きまくってください。
使用教科書は、Jamey Aebersold Vol.3　THE II-V7-I PROGRESSION でやっていきます。

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	Sax PC(Saxophone private counseling)	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】
フレーズの組み合わせや、基礎的な演奏（スケール、インターバル、アルペジオ）等でソロを構成していく。

【実務者経験】幼少の頃より、父・古谷充の影響で音楽の基礎とピアノを学ぶ。
ジャズ・サックスを赤松二郎、奥田章三、宗清洋、理論を田中克彦に師事。’98年3月アルバム「KHAMSIN」をリリース。’97年12月アトランタ、’98年9月GJOでモンタレイ・ジャズ・フェスティバル、’04～’06年IAJEなどに参加。ほか「est−1」CMソング、「パワフルプロ野球」OPテーマ提供。円広志のセッションレコーディングにも参加。

【到達目標】
前期でやっていたフレーズ習得の続きと、終了したら、それらを使い、ソロを作成していく。

授業計画・内容	
1週目	演奏レベルのチェック、後プラン作成
2週目	基礎的な演奏（ロングトーン、スケール等）
3週目	基礎的な演奏（ロングトーン、スケール等）
4週目	基礎的な演奏２（インターバル等）
5週目	基礎的な演奏２（インターバル等）
6週目	II-V-Iフレーズ
7週目	上記と同様
8週目	上記と同様
9週目	上記と同様
10週目	上記と同様
11週目	上記と同様
12週目	上記と同様
13週目	ワークショップ(海外研修)
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	自分のアイドル（あこがれの的）プレイヤーを決め、ずっと聴いていて下さい。 そして、コピーしていってください。 コピーは、ソロだけでなく、テーマもお願いします。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	ポピュラー音楽（JAZZも含む）を演奏する以上、アドリブはどうしても付きまといます。 自分で、コードを読みアドリブができように頑張って欲しいです。 お笑いの「ボケ・ツッコミ」のように、頭ではなく身体で反応できるように頑張ってください。

【使用教科書・教材・参考書】
参考楽曲は、自分で決めたアイドル（あこがれの的）を徹底的に聴きまくってください。
前期でも使っている、Jamey Aebersold Vol.3　THE II-V7-I PROGRESSION も使っていきます。

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	Sax PC(Sax private counseling)	必修選択	必修	年次	1,2年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】
学期を通して基本練習を継続し、平行して楽曲の練習をしてゆきます。基本練習とは、音を良く響かせるためのもので、レッスン以外でも楽器を演奏する前に行ってほしい練習です。

【実務者経験】
東京都内で活動後渡米、バークリー音楽大学を卒業。 現在、荒崎ビッグバンド、フリーダムジャズスピリッツ、10テナー・サックス・アンサンブル、ディスカルゴオオサカなどを主宰し、数々のビッグバンドアレンジで活躍中。

【到達目標】
基本を習得し、楽器をコントロールするための技術、読譜力、インプロビゼーション(即興演奏)力などの向上を図り、いろいろな音楽スタイルに対応できるようになることを目的します。

授業計画・内容	
1週目	基本練習の説明と継続方法。
2週目	基本練習と-C,F,Bb-メジャー・スケールと分散和音の練習　指定された楽曲の練習 指定された教則本
3週目	基本練習と-G,D,A-メジャー・スケールと分散和音の練習　指定された楽曲の練習　指定された教則本
4週目	基本練習と-Eb,Ab,Db-メジャー・スケールと分散和音の練習　指定された楽曲の練習　指定された教則本
5週目	基本練習と-E,B,F#-メジャー・スケールと分散和音の練習　指定された楽曲の練習　指定された教則本
6週目	基本練習とⅡ－Ⅴ－Ⅰの練習-1. 楽曲の練習　指定された教則本
7週目	基本練習とⅡ－Ⅴ－Ⅰの練習-2. 楽曲の練習　指定された教則本
8週目	基本練習とⅡ－Ⅴ－Ⅰの練習-3. 楽曲の練習　指定された教則本
9週目	基本練習とⅡ－Ⅴ－Ⅰの練習-4. 楽曲の練習　指定された教則本
10週目	基本練習とコード・ワークの練習-1. 指定された教則本
11週目	基本練習とコード・ワークの練習-2. 指定された教則本
12週目	基本練習とコード・ワークの練習-3. 指定された教則本
13週目	学期末　テスト　●自由曲　●初見　●教則本
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	基本練習は、楽器を演奏し続けている限り継続しつづけることで演奏技術、つまり、音色、音量、音質、アーティキュレーションなどを改善しつづけてゆけます。この基本練習とともに並行して実際の楽曲についてのメロディーの吹き方、アドリブのアプローチの方法などをレッスンします。

【使用教科書・教材・参考書】
クローゼ、 デルビギエ、 フェリング　など各種教則本

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	Sax PC(Sax private counseling)	必修選択	必修	年次	1,2年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】学期を通して基本練習を継続し、並行して楽曲の練習をしてゆきます。

【実務者経験】
東京都内で活動後渡米、バークリー音楽大学を卒業。 現在、荒崎ビッグバンド、フリーダムジャズスピリッツ、10テナー・サックス・アンサンブル、ディスカルゴオオサカなどを主宰し、数々のビッグバンドアレンジで活躍中。

【到達目標】
基本を習得し、楽器をコントロールするための技術、読譜力、インプロビゼーション(即興演奏)力などの向上を図り、いろいろな音楽スタイルに対応できるようになることを目的とします。

授業計画・内容	
1週目	基本練習の説明と継続方法。
2週目	基本練習と-C,F,Bb-マイナー・スケールと分散和音の練習　指定された楽曲の練習 指定された教則本
3週目	基本練習と-G,D,A-マイナー・スケールと分散和音の練習　指定された楽曲の練習　指定された教則本
4週目	基本練習と-Eb,Ab,Db-マイナー・スケールと分散和音の練習　指定された楽曲の練習　指定された教則本
5週目	基本練習と-E,B,F#-マイナー・スケールと分散和音の練習　指定された楽曲の練習　指定された教則本
6週目	基本練習とコードワークの練習-1.　楽曲の練習　指定された教則本
7週目	基本練習とコードワークの練習-2.　楽曲の練習　指定された教則本
8週目	基本練習とコードワークの練習-3.　楽曲の練習　指定された教則本
9週目	基本練習とコードワークの練習-4.　楽曲の練習　指定された教則本
10週目	楽曲「Giant Steps」の演奏とコード・ワークの練習-1.　指定された教則本
11週目	楽曲「Giant Steps」の演奏とコード・ワークの練習-2.　指定された教則本
12週目	学期末　テスト　自由曲　初見　教則本
13週目	ワークショップ(海外研修)
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	基本練習は、楽器を演奏し続けている限り継続しつづけることで演奏技術、つまり、音色、音量、音質、アーティキュレーションなどを改善しつづけてゆけます。この基本練習とともに並行して実際の楽曲についてのメロディーの吹き方、アドリブのアプローチの方法などをレッスンします。

【使用教科書・教材・参考書】
クローゼ、 デルビギエ、 フェリング　など各種教則本

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	Tp PC(Trumpet private counseling)	必修選択	必修	年次	1,2年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】
トランペット演奏の基礎を習得するための基礎課題とアドリブ演奏の上達のための研究を行う。

【実務者経験】
’03年New Yorkへ単身渡米。ライブハウス出演やレコーディングに参加。Valery Ponomarev, Houston Person, Frank Wess, Billy Harper, Lonnie Smithら世界トップミュージシャンと共演、リンカーンセンターへの出演も果たす。リーダーアルバムは各メディアで絶賛。’14年、日本で演奏活動を展開中。

【到達目標】
トランペットを通して音楽の奥深さを知り、色々な音楽の現場に対応できるトランペッターになる。

授業計画・内容	
1週目	ロングトーン　いい音を出すために
2週目	タンギング　音の立ち上がりを早く
3週目	リップスラー　高い音を出すために
4週目	フレキシビリティ　実戦を見越して
5週目	ベンド　音の中心を吹く
6週目	ペダル　楽器のコントロール
7週目	フィンガリング　指をすばやく確実に動かす
8週目	練習曲１　トランペットを通して歌う事
9週目	練習曲２　トランペットを通して歌う事
10週目	練習曲３　トランペットを通して歌う事
11週目	アドリブ１　サッチモから学ぶ
12週目	アドリブ２　ビバップから学ぶ
13週目	アドリブ3　自分なりのアドリブを
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	メジャースケール、マイナースケール3種類は吹けるようにしておいてください。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	アドリブを勉強すると音楽がより楽しくなりますがアドリブ練習には忍耐が必要です。がんばりましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	Tp PC(Trumpet private counseling)	必修選択	必修	年次	1,2年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】
トランペット演奏の基礎を習得するための基礎課題とアドリブ演奏の上達のための研究を行う。

【実務者経験】
'03年New Yorkへ単身渡米。ライブハウス出演やレコーディングに参加。Valery Ponomarev, Houston Person, Frank Wess, Billy Harper, Lonnie Smithら世界トップミュージシャンと共演、リンカーンセンターへの出演も果たす。リーダーアルバムは各メディアで絶賛。'14年、日本で演奏活動を展開中。

【到達目標】
トランペットを通して音楽の奥深さを知り、色々な音楽の現場に対応できるトランペッターになる。

授業計画・内容	
1週目	トランペットの音色を研究する
2週目	ピッチのとり方
3週目	アドリブソロの取り方
4週目	ジャズ・ジャイアントの研究 1. Louis Armstrong
5週目	ジャズ・ジャイアントの研究 2. Dizzy Gillespie
6週目	ジャズ・ジャイアントの研究3. Fats Navarro
7週目	ジャズ・ジャイアントの研究 4. Clifford Brown
8週目	ジャズ・ジャイアントの研究 5. Lee Morgan
9週目	ジャズ・ジャイアントの研究 6. Freddi Hubburd
10週目	ジャズ・ジャイアントの研究 7. Woddy Shaw
11週目	ジャズ・ジャイアントの研究 8. Wynton Marsalis, Terence Blanchard
12週目	イアントの研究 9. Roy Hargrove を始めとする90年代デビューのトランペッターたち 研究結果を自分のプレ
13週目	ワークショップ(海外研修)
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	メジャースケール、マイナースケール3種類は吹けるようにしておいてください。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	アドリブを勉強すると音楽がより楽しくなりますがアドリブ練習には忍耐が必要です。がんばりましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	Vo PC(Vocal Private Counseling)	必修選択	必修	年次	1,2年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】・基礎的なボーカルトレーニングと曲の歌唱指導。・一人一人のニーズに合わせたオーダーメイドのlessonとcounselingを行う。

【実務者経験】シンガーソングライターとして、楽曲の世界観を描くように繊細かつ大胆にemotionalに変化するvocal styleで地元関西、名古屋、広島、東京での活動を経て、多拠点暮らしの豊かな日々を歌う。また、長渕剛、橋本環奈などアーティストのコンサートサポートシンガーとしても活躍。

【到達目標】①ヴォーカルトレーニングの基礎を身につけ、安定した発声ができるようになる。(腹式呼吸、チェストヴォイス、ヘッドヴォイスetc…)②沢山のジャンルの音楽に触れ、歌えるようになる。③自身の声や歌唱の長所を知り、自信をつける。④自己成長を続ける為、自分自身との付き合い方のヒントとなる、考え方のクセやモチベーションの上げ方を見つける。⑤短期・中期・長期の目標を立て、練習する事を習慣化する。

授業計画・内容	
1週目	個別カウンセリング
2週目	課題曲①邦楽歌唱練習の仕方
3週目	課題曲①チェック、邦楽歌唱練習
4週目	課題曲①最終チェック、邦楽歌唱練習、課題曲②相談
5週目	課題曲②洋楽歌唱練習の仕方
6週目	課題曲②チェック、洋楽歌唱練習
7週目	課題曲②最終チェック、洋楽歌唱練習、課題曲③相談
8週目	課題曲③邦楽歌唱練習の仕方
9週目	課題曲③チェック、邦楽歌唱練習
10週目	課題曲③最終チェック、邦楽歌唱練習、課題曲④相談
11週目	課題曲④洋楽歌唱練習の仕方
12週目	課題曲④チェック、洋楽歌唱練習
13週目	課題曲④最終チェック、洋楽歌唱練習
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	・歌詞カードを自分用と講師用に準備して頂きます。(手書き、プリントアウト、PDFデータシェア、いずれでも可)
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	この授業では、沢山のジャンルの音楽にふれながら、自分にピッタリのキーを見つけて、自信を持って歌えるようになりましょう。成長を続けられるように、 日々の計画を立てながら、自分自身との付き合い方のヒントとなる「考え方のクセ」「モチベーションの上げ方」も見つけていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	Vo PC(Vocal Private Counseling)	必修選択	必修	年次	1,2年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】
・基礎的なボーカルトレーニングと曲の歌唱指導。・一人一人のニーズに合わせたオーダーメイドのlessonとcounselingを行う。

【実務者経験】
シンガーソングライターとして、楽曲の世界観を描くように繊細かつ大胆にemotionalに変化するvocal styleで地元関西、名古屋、広島、東京での活動を経て、多拠点暮らしの豊かな日々を歌う。また、長渕剛、橋本環奈などアーティストのコンサートサポートシンガーとしても活躍。

【到達目標】①ヴォーカルトレーニングの基礎を身につけ、安定した発声ができるようになる。(腹式呼吸、チェストヴォイス、ヘッドヴォイスetc…)②沢山のジャンルの音楽に触れ、歌えるようになる。③自身の声や歌唱の長所を知り、自信をつける。④自己成長を続ける為、自分自身との付き合い方のヒントとなる、考え方のクセやモチベーションの上げ方を見つける。⑤短期・中期・長期の目標を立て、練習する事を習慣化する。

授業計画・内容	
1週目	全員ミーティング / 後期の授業進行ガイダンス / 後期の目標共有
2週目	課題曲①邦楽歌唱練習の仕方
3週目	課題曲①チェック、邦楽歌唱練習
4週目	課題曲①最終チェック、邦楽歌唱練習、課題曲②相談
5週目	課題曲②洋楽歌唱練習の仕方
6週目	課題曲②チェック、洋楽歌唱練習
7週目	全員ミーティング / 活動報告 / 後期の目標共有
8週目	課題曲③邦楽歌唱練習の仕方
9週目	課題曲③チェック、邦楽歌唱練習
10週目	課題曲③最終チェック、邦楽歌唱練習、課題曲④相談
11週目	課題曲④洋楽歌唱練習の仕方
12週目	課題曲④チェック、洋楽歌唱練習
13週目	ワークショップ(海外研修)
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	・歌詞カードを自分用と講師用に準備して頂きます。(手書き、プリントアウト、PDFデータシェア、いずれでも可)
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	この授業では、沢山のジャンルの音楽にふれながら、自分にピッタリのキーを見つけて、自信を持って歌えるようになりましょう。成長を続けられるように、日々の計画を立てながら、自分自身との付き合い方のヒントとなる「考え方のクセ」「モチベーションの上げ方」も見つけていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	Vo PC(Vocal Private Counseling)	必修選択	必修	年次	1,2年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】
個々の技術に合わせた内容。ボイトレ、課題曲、他授業のフォロー等。

【実務者経験】
ゴスペルグループにて国内外でコンサート活動。Superfly,長渕剛等様々なアーティストのコーラスを務め、
ミュージカルでも活動中。

【到達目標】
個人の短期的、中期的、長期的目標を立て、それに向かって実行していく事をクリアにする。
なりたいものの為に個人で練習時間などを作る習慣をつける。

授業計画・内容	
1週目	前期の目標の達成度確認、後期の目標確認、ボイトレ、課題曲
2週目	後期目標設定、ボイトレ、課題曲
3週目	ボイトレ、課題曲
4週目	ボイトレ、課題曲
5週目	ボイトレ、課題曲
6週目	ボイトレ、課題曲
7週目	ボイトレ、課題曲
8週目	ボイトレ、課題曲
9週目	ボイトレ、課題曲
10週目	ボイトレ、課題曲
11週目	ボイトレ、課題曲
12週目	ボイトレ、課題曲
13週目	ボイトレ、課題曲
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	個人の目標設定とそれに向けての習慣作りをする。 ボイトレ、課題曲は普段練習しているものを授業内でみてもらうようにする。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	この授業では個々の目標に沿って内容を決めていき、課題曲等も先生と話し合い決めていきます。 オーディション対策や他の授業のフォローなどなんでも相談してください。 音楽的な技術と諦めずに続けていく心を一緒に養いましょう！！

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	Vo PC(Vocal Private Counseling)	必修選択	必修	年次	1,2年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	実習	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】グローバルスタンダードとしての発声に関する基礎知識の学び。また声を成長させるトレーニングの実践方法の習得。（邦楽・洋楽両方の）歌唱力習得のためのトレーニング方法の実践。発声・歌唱における姿勢・呼吸体の使い方の実践と習得。学習し成長するための意識の改革

【実務者経験】ゴスペルグループソウルマティックスのsinger として活動し、k-popアーティスト、劇団四季の俳優を指導。ゴダイゴ・ベーチェチョル・ももクロ、その他業界の方との共演

【到達目標】生徒個々に声の性質と、現時点での音域を理解し、次へのレベルに向けて必要な課題曲・音域をあげる。邦楽・洋楽ともに歌える技術の習得。基礎的なハーモニーの作成世界で評価が高い曲を選曲し、歌えるように導く

授業計画・内容	
1週目	発声の基礎知識についての紹介 （姿勢・呼吸・声帯のトレーニング）
2週目	姿勢・呼吸・声帯（声帯のトレーニング方法の紹介、低音・高音）
3週目	発声の基礎知識の実践習得の確認・音域の確認・課題曲提出洋楽を歌うに必要な発音の知識レクチャー・発表会の日程告知
4週目	発声の基礎知識の実践習得の確認・音域の確認課題曲を通して発音・発声が習得の確認
5週目	発声の基礎知識の実践習得の確認・音域の確認課題曲を通して発音・発声が習得の確認
6週目	課題曲の発表会（リフレクション）実践できた事、できなかった事、明確にして次の課題曲に進む
7週目	発声の基礎知識の実践習得の確認・音域の確認課題曲を通して発音・発声が習得の確認
8週目	発声の基礎知識の実践習得の確認・音域の確認課題曲を通して発音・発声が習得の確認
9週目	課題曲の発表会（リフレクション）実践できた事、できなかった事、明確にして次の課題曲に進む
10週目	発声の基礎知識の実践習得の確認・音域の確認課題曲を通して発音・発声が習得の確認
11週目	発声の基礎知識の実践習得の確認・音域の確認課題曲を通して発音・発声が習得の確認
12週目	課題曲の発表会（リフレクション）実践できた事、できなかった事、明確にして次の課題曲に進む
13週目	発声の基礎知識の実践習得の確認・音域の確認課題曲を通して発音・発声が習得の確認
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	一人一人の声の性質を確認した上でそれぞれの方にあう、課題と成長していける過程を提示できます。才能ではなく、努力する事で仕事で成功する事を授業を通して証明していきます。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	Vo PC(Vocal Private Counseling)	必修選択	必修	年次	1,2年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	実習	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】グローバルスタンダードとしての発声に関する基礎知識の学び。また声を成長させるトレーニングの実践方法の習得。（邦楽・洋楽両方の）歌唱力習得のためのトレーニング方法の実践。発声・歌唱における姿勢・呼吸体の使い方の実践と習得。学習し成長するための意識の改革

【実務者経験】ゴスペルグループソウルマティックスのsinger として活動し、k-popアーティスト、劇団四季の俳優を指導。ゴダイゴ・ベーチェチョル・ももクロ、その他業界の方との共演

【到達目標】生徒個々に声の性質と、現時点での音域を理解し、次へのレベルに向けて必要な課題曲・音域をあげる。邦楽・洋楽ともに歌える技術の習得。基礎的なハーモニーの作成世界で評価が高い曲を選曲し、歌えるように導く

授業計画・内容	
1週目	短いカウンセリング（質疑応答）、目標の確認、発声チェック、歌唱チェック
2週目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
3週目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
4週目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
5週目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
6週目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
7週目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
8週目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
9週目	外化、発声チェック、発表会の曲チェック、冬休みの課題チェック
10週目	外化、発声チェック、発表会の曲チェック
11週目	外化、発声チェック、発表会の曲チェック
12週目	卒業に向けてカウンセリング（個人面談なども有）、発声チェック、発表会の曲チェック
13週目	ワークショップ(海外研修)
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	一人一人の声の性質を確認した上でそれぞれの方にあう、課題と成長していける過程を提示できます。才能ではなく、努力する事で仕事で成功する事を授業を通して証明していきます。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	Vo PC(Vocal Private Counseling)	必修選択	必修	年次	1,2年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】基礎の強化。（発声、トレーニング、洋楽の練習の仕方、声をしっかり使った歌唱）

【実務者経験】日本を代表するゴスペルグループTHE SOULMATICSのメンバーとして活動中。ベストヒット歌謡祭、日テレ「世界1のSHOW タイム」、フジテレめざましテレビ「めざましライブ」、2017年にはデヴィッド・ボウイ生誕70周年記念世界ツアー＜CELEBRATING DAVID BOWIE＞の日本公演への出演をはじめ、ゴダイゴ、五木ひろし、Doberman Infinity、湘南乃風 などトップアーティストのレコーディングやツアーサポートとして参加。海外では、世界を代表するシンガーのKelly Price、MELONIE DANIELS、STACY FRANCIS等と共演経験があり、LA、シカゴ、NYなど海外へのツアーに毎年参加しており、国内外で活躍。

【到達目標】正しい声のトレーニング方法の習得、正しい声を使っての歌唱。基礎の強化。

授業計画・内容	
1週目	自己紹介・カウンセリング。目的目標確認。
2週目	発声チェック。課題曲歌唱。
3週目	発声チェック。課題曲歌唱。
4週目	発声チェック。課題曲歌唱。
5週目	発声チェック。課題曲歌唱。
6週目	発声チェック。課題曲歌唱。
7週目	発声チェック。課題曲歌唱。
8週目	発声チェック。課題曲歌唱。
9週目	発声チェック。課題曲歌唱。
10週目	発声チェック。課題曲歌唱。
11週目	発声チェック。課題曲歌唱。
12週目	発声チェック。課題曲歌唱。
13週目	発声チェック。課題曲歌唱。
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	習慣的な発声練習。課題曲のアナライズ。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	一緒に頑張りましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	Vo PC(Vocal Private Counseling)	必修選択	必修	年次	1,2年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】基礎の強化。（発声、トレーニング、洋楽の練習の仕方、声をしっかり使った歌唱）

【実務者経験】日本を代表するゴスペルグループTHE SOULMATICSのメンバーとして活動中。ベストヒット歌謡祭、日テレ「世界1のSHOW タイム」、フジテレめざましテレビ「めざましライブ」、2017年にはデヴィッド・ボウイ生誕70周年記念世界ツアー＜CELEBRATING DAVID BOWIE＞の日本公演への出演をはじめ、ゴダイゴ、五木ひろし、Doberman Infinity、湘南乃風 などトップアーティストのレコーディングやツアーサポートとして参加。海外では、世界を代表するシンガーのKelly Price、MELONIE DANIELS、STACY FRANCIS等と共演経験があり、LA、シカゴ、NYなど海外へのツアーに毎年参加しており、国内外で活躍。

【到達目標】正しい声のトレーニング方法の習得、正しい声を使っての歌唱。基礎の強化。

授業計画・内容	
1週目	発声チェック。課題曲歌唱。
2週目	発声チェック。課題曲歌唱。
3週目	発声チェック。課題曲歌唱。
4週目	発声チェック。課題曲歌唱。
5週目	発声チェック。課題曲歌唱。
6週目	発声チェック。課題曲歌唱。
7週目	発声チェック。課題曲歌唱。
8週目	発声チェック。課題曲歌唱。
9週目	発声チェック。課題曲歌唱。
10週目	発声チェック。課題曲歌唱。
11週目	発声チェック。課題曲歌唱。
12週目	発声チェック。課題曲歌唱。
13週目	ワークショップ(海外研修)
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	習慣的な発声練習。課題曲のアナライズ。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	一緒に頑張りましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	コーラスワーク（Chorus work ）	必修選択	選択	年次	1,2年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	演習	総時間	120	開講区分	前期

【授業の学習内容】
ヴォーカルコース全員で一緒に歌う。コーラスワークを学ぶ。

【実務者経験】
ゴスペルグループにて国内外でコンサート活動。Superfly,長渕剛等様々なアーティストのコーラスを務め、ミュージカルでも活動中。

【到達目標】
●一人で歌える事も大切ですが、仲間と繋がり、声を重ねる事で出来る音楽の楽しさを知る。●ハーモニーを感じながら歌えるようになる。
●心の解放や動きながら歌うことによって表現力をあげる。●主体的に動き、人に貢献できるような人を目指す。
●チームワークを学び、自分とは違う価値観の人にも寄り添える人を目指す。

授業計画・内容	
1週目	オリエンテーション、課題曲①②、心の解放
2週目	課題曲①②、心の解放
3週目	課題曲①②③
4週目	課題曲②③、リズムをとりながら歌う
5週目	課題曲②③、リズムをとりながら歌う
6週目	課題曲③④、歌詞の分析、自分に置き換える
7週目	課題曲③④、歌詞の分析、自分に置き換える
8週目	課題曲④⑤、歌詞を伝えながら歌う
9週目	課題曲④⑤、歌詞を伝えながら歌う
10週目	課題曲⑤⑥
11週目	課題曲⑤⑥
12週目	課題曲総復習、ステージング練習
13週目	前期発表会に向けて、課題曲総復習、ステージング練習
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	授業で教えた音などは録音し、次の授業には歌えるように練習しておく。 まずはここの練習からしていき、発表会近くにはパート練習やチームで練習時間を組む。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	この授業では、仲間と共に音を重ねることによって個々の技術を伸ばして行きます。 歌の技術、ハーモニー感、ステージングを学ぶと共にチームワークも大切にしていきます。 是非、この人と仕事がしたいと思われる、技術と心のあるシンガー目指して頑張りましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	コーラスワーク（Chorus work ）	必修選択	選択	年次	1,2年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	演習	総時間	120	開講区分	後期

【授業の学習内容】
ヴォーカルコース全員で一緒に歌う。コーラスワークを学ぶ。

【実務者経験】
ゴスペルグループにて国内外でコンサート活動。Superfly,長渕剛等様々なアーティストのコーラスを務め、ミュージカルでも活動中。

【到達目標】
●一人で歌える事も大切ですが、仲間と繋がり、声を重ねる事で出来る音楽の楽しさを知る。●ハーモニーを感じながら歌えるようになる。
●心の解放や動きながら歌うことによって表現力をあげる。●主体的に動き、人に貢献できるような人を目指す。
●チームワークを学び、自分とは違う価値観の人にも寄り添える人を目指す。

授業計画・内容	
1週目	課題曲⑦⑧
2週目	課題曲⑦⑧、ステージング（動き、歌詞の表現）
3週目	課題曲⑧⑨
4週目	課題曲⑧⑨、ステージング（動き、歌詞の表現）
5週目	課題曲⑨⑩
6週目	課題曲⑨⑩、ステージング
7週目	課題曲⑩11
8週目	課題曲⑩、11、ステージング
9週目	課題曲11、12
10週目	課題曲11、12、ステージング
11週目	We are Koyoに向けて
12週目	We are Koyoに向けて
13週目	コーラスワーク(海外研修)
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	授業で教えた音などは録音し、次の授業には歌えるように練習しておく。 まずはここの練習からしていき、発表会近くにはパート練習やチームで練習時間を組む。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	この授業では、仲間と共に音を重ねることによって個々の技術を伸ばして行きます。 歌の技術、ハーモニー感、ステージングを学ぶと共にチームワークも大切にしていきます。 是非、この人と仕事がしたいと思われる、技術と心のあるシンガー目指して頑張りましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	ヴォーカルファンダメンタル（Vocal Fundamental）	必修選択	必修	年次	1,2年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】・歌う事に関するフィジカルの基礎知識を学ぶ(発声のメカニズム/器官や身体の動き/声の種類etc..)
・自分の好きな音楽を楽しみながら論理的に理解する
（ルーツミュージックのバックボーン、代表的なアーティスト、文化や歴史、ビジネス形態）
・好きなアーティストの歌唱や音楽性をまとめ、各自発表をする。（好きな歌唱や音楽を、言葉で人に伝える）

【実務者経験】シンガーソングライターとして、楽曲の世界観を描くように繊細かつ大胆にemotionalに変化するvocal styleで地元関西、名古屋、広島、東京での活動を経て、多拠点暮らしの豊かな日々を歌う。また、長渕剛、橋本環奈などアーティストのコンサートサポートシンガーとしても活躍。

【到達目標】
・歌唱や音楽に関する基礎知識を論理的に理解しながら、この授業で学んだボーカルに関する内容を用いて「VoPC」の授業などで学ぶメソッドを深く理解し、自分自身を育ててゆく礎を組む。
・学んだ基礎知識を活かし、自身の音楽活動はもちろん、将来的に後進育成に携わることができる基礎知識と、言葉で伝える力を身につける。
・社会に出る前に専門性の高い音楽教養をつけ、仕事をする現場でのコミュニケーションを円滑にできる人材になる。 ex,自分のプロジェクトの場合はプロデューサーへ自身の音楽性や活動の骨子を的確に伝えることができる。メインフロントの場合はサポートミュージシャンへのアレンジの提案。コーラスの場合はサポートするアーティストからの要望に端的に応えられる。

授業計画・内容	
1週目	オリエンテーション
2週目	発声に関する基礎知識①
3週目	発声に関する基礎知識②
4週目	海外の音楽の文化/歴史/商業①(アフリカ大陸)
5週目	海外の音楽の文化/歴史/商業②(南北アメリカ大陸)
6週目	海外の音楽の文化/歴史/商業③(オーストラリア大陸)
7週目	海外の音楽の文化/歴史/商業④(ヨーロッパ圏)
8週目	海外の音楽の文化/歴史/商業⑤(アジア圏)
9週目	プレゼンテーションについてプレ発表 / プレゼン内容決定
10週目	国内の音楽の文化/歴史/商業①(伝統芸能)
11週目	国内の音楽の文化/歴史/商業②(70年代/80年代/90年代)
12週目	国内の音楽の文化/歴史/商業③(テン年代)
13週目	プレゼンテーション
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	・プレゼンテーション前に、好きなアーティストに関する書籍や音源資料、映像資料、インターネット情報を用いて準備をして頂きます。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	世界の歌唱や音楽の基礎知識を学ぶ授業です。知識をみんなでシェアし、楽しみながら自分の好きなアーティストについて深く理解できるようになり、それを自分の言葉で伝えられるようになりましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	ヴォーカルファンダメンタル（Vocal Fundamental）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】・歌う事に関するフィジカルの知識を学びながら歌唱の基礎力を育てる(呼吸、姿勢、低音3種類、イーストレッチ、裏声)
・自分の好きな音楽を楽しみながら論理的に理解する（ルーツミュージックのバックボーン、代表的なアーティスト、文化や歴史）
・好きなアーティストの歌唱や音楽性をまとめ、各自発表をする。（好きな歌唱や音楽を、言葉で人に伝える）

【実務者経験】シンガーソングライターとして、楽曲の世界観を描くように繊細かつ大胆にemotionalに変化するvocal styleで地元関西、名古屋、広島、東京での活動を経て、多拠点暮らしの豊かな日々を歌う。また、長渕剛、橋本環奈などアーティストのコンサートサポートシンガーとしても活躍。

【到達目標】
・歌唱や音楽に関する基礎知識を論理的に理解しながら、この授業で学んだボーカルに関する内容を用いて「VoPC」の授業などで学ぶメソッドを深く理解し、自分自身を育ててゆく礎を組む。
・学んだ基礎知識を活かし、自身の音楽活動はもちろん、将来的に後進育成に携わることができる基礎知識と、言葉で伝える力を身につける。
・社会に出る前に専門性の高い音楽教養をつけ、仕事をする現場でのコミュニケーションを円滑にできる人材になる。 ex,自分のプロジェクトの場合はプロデューサーへ自身の音楽性や活動の骨子を的確に伝えることができる。メインフロントの場合はサポートミュージシャンへのアレンジの提案。コーラスの場合はサポートするアーティストからの要望に端的に応えられる。

授業計画・内容	
1週目	後期の授業進行ガイダンス / 後期の目標共有 / 基礎発声トレーニング / 課題曲①
2週目	基礎発声トレーニング / 課題曲① / 海外の音楽の文化/歴史/商業
3週目	基礎発声トレーニング / 課題曲① / 海外の音楽の文化/歴史/商業
4週目	基礎発声トレーニング / 課題曲① / 海外の音楽の文化/歴史/商業
5週目	基礎発声トレーニング / 課題曲① / 海外の音楽の文化/歴史/商業
6週目	Vo ファンデーション / オーディション♪(ソロでワンコーラス歌い採点用紙記入しフィードバック)
7週目	基礎発声トレーニング / 課題曲②
8週目	基礎発声トレーニング / 課題曲②
9週目	基礎発声トレーニング / 課題曲②
10週目	基礎発声トレーニング / 課題曲②
11週目	基礎発声トレーニング / 課題曲②
12週目	Vo ファンデーションLIVE♪
13週目	ワークショップ(海外研修)
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	世界の歌唱や音楽の基礎知識を学びながら、歌唱の基礎力をつける授業です。知識をみんなでシェアし、楽しみながら自分の好きなアーティストについて深く理解できるようになり、 それを自分の言葉で伝えられるようになりましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	アレンジ1 Arrangement1	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	講習演習	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】ノーテーションの復習と確認。アレンジの基礎的な知識と、リズムセクションの各楽器（ドラム、ベース、ギター、ピアノ、キーボード）の基本とノーテーションを学ぶ。

【実務者経験】
甲陽音楽学院を卒業後、IASJジャズミーティングパリ大会に参加。バークリー音楽大学に編入し、AlexUlanowskiAWARDを受賞。ジャズコンポジション科を首席で卒業する。JAJEカンファレンスやEBUアレンジャーワークショップに参加するなど国内外で活動。’09年ブリュッセルジャズオーケストラのジャズコンポジションコンテストでグランプリBIOアワードとオーディエンスアワードを受賞。

【到達目標】4パートのリズム・セクション・アレンジを記譜できるようになる。

授業計画・内容	
1週目	ノーテーションの復習と確認
2週目	メロディ・アレンジ（アンティシペーションとディレイド・アタック）
3週目	メロディ・アレンジ（アンティシペーションとディレイド・アタック）
4週目	楽器と記譜　ドラム
5週目	楽器と記譜　ドラム
6週目	楽器と記譜　ベース
7週目	楽器と記譜　ベース
8週目	楽器と記譜　ギター
9週目	楽器と記譜　ギター
10週目	楽器と記譜　ピアノ、キーボード
11週目	楽器と記譜　ピアノ、キーボード
12週目	フォーム
13週目	スコア作成
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	授業内で配布するプリント課題への取り組み。
評価方法	出席率および授業内課題の成績により評価する。
受講生への メッセージ	楽譜を書くことに慣れていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】授業内でプリント課題を配布。

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	アレンジ2 Arrangement 2	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	講習演習	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】
管楽器（トランペット、トロンボーン、サックス）の基本とノーテーションを学ぶ。ハーモナイゼーションとボイシングの基本的な知識と、2パートと4パートの管楽器アレンジの基礎を学ぶ。

【実務者経験】
甲陽音楽学院を卒業後、IASJジャズミーティングパリ大会に参加。バークリー音楽大学に編入し、AlexUlanowskiAWARDを受賞。ジャズコンポジション科を首席で卒業する。JAJEカンファレンスやEBUアレンジャーワークショップに参加するなど国内外で活動。’09年ブリュッセルジャズオーケストラのジャズコンポジションコンテストでグランプリBIOアワードとオーディエンスアワードを受賞。

【到達目標】 4 horns(Tpt Tromb T.Sax Bari.Sax) のオープン・スコアとパート譜を作成できるようになる。

授業計画・内容	
1週目	楽器と記譜　トランペット
2週目	楽器と記譜　トランペット
3週目	楽器と記譜　トロンボーン
4週目	楽器と記譜　トロンボーン
5週目	楽器と記譜　サックス
6週目	楽器と記譜　サックス
7週目	楽器と記譜　サックス、スコア・レイアウト
8週目	スコア・レイアウト
9週目	ユニゾン、オクターブ
10週目	2パート・ソリ
11週目	2パート・ソリ
12週目	4－way Close Voicing
13週目	ワークショップ（海外研修）
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	授業内で配布するプリント課題への取り組み。
評価方法	出席率および授業内課題の成績により評価する。
受講生への メッセージ	各管楽器の特性を学び、実際のアレンジに際して管楽器を使ったスコアを書く事ができるようになります。

【使用教科書・教材・参考書】 テキストなし。授業内でプリント配布。

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	スマッシュルームプロジェクト（Smash Room Project）	必修選択	選択	年次	1,2年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	演習	総時間	120	開講区分	前期

【授業の学習内容】毎週、異なる課題曲を、「予習あり」「初見」の２パターンで演奏してもらい、楽曲に対する理解力、スピード感、演奏力、精神力を鍛える。セッションにてインプロヴィゼーション力を向上させる。サポートミュージシャンに関する膨大な情報や知識を細かく説明していく。

【実務者経験】ギタリスト、音楽プロデューサーであり。音楽事務所「Smash Room」代表を務めている。「感情直結型ギタリスト」の名の元、独創感かつ存在感のあるギタープレイで独自のジャンルを築き上げる。阿部真央、miwa、D-LITE、いきものがかり、 ももいろクローバーZなどのサポートミュージシャンとして活躍中。

【到達目標】
技術や精神力、コミュニケーション能力を向上させ、プロのサポートミュージシャン、スタジオミュージシャンとして、実践で活動できるようにする。

授業計画・内容	
1週目	課題曲「くちづけ」を予習ありで演奏。インプロヴィゼーション力向上セッション。サポートミュージシャン講義。 課題曲「teke it eazy」を初見で演奏。
2週目	課題曲「teke it eazy」を予習ありで演奏。インプロヴィゼーション力向上セッション。サポートミュージシャン講義。 課題曲「my sweet darling」を初見で演奏。
3週目	課題曲「my sweet darling」を予習ありで演奏。インプロヴィゼーション力向上セッション。サポートミュージシャン講義。 課題曲「TwoPinkyRings」を初見で演奏。
4週目	課題曲「TwoPinkyRings」を予習ありで演奏。インプロヴィゼーション力向上セッション。サポートミュージシャン講義。 課題曲「KATE」を初見で演奏。
5週目	課題曲「KATE」を予習ありで演奏。インプロヴィゼーション力向上セッション。サポートミュージシャン講義。 課題曲「君に会いに行くよ」を初見で演奏。
6週目	課題曲「君に会いに行くよ」を予習ありで演奏。インプロヴィゼーション力向上セッション。サポートミュージシャン講義。 課題曲「輝いて」を初見で演奏。
7週目	課題曲「輝いて」を予習ありで演奏。インプロヴィゼーション力向上セッション。サポートミュージシャン講義。 課題曲「夏祭り」を初見で演奏。
8週目	課題曲「夏祭り」を予習ありで演奏。インプロヴィゼーション力向上セッション。サポートミュージシャン講義。 課題曲「flower」を初見で演奏。
9週目	課題曲「flower」を予習ありで演奏。インプロヴィゼーション力向上セッション。サポートミュージシャン講義。 課題曲「未来惑星」を初見で演奏。
10週目	課題曲「未来惑星」を予習ありで演奏。インプロヴィゼーション力向上セッション。サポートミュージシャン講義。 課題曲「mado」を初見で演奏。
11週目	課題曲「mado」を予習ありで演奏。インプロヴィゼーション力向上セッション。サポートミュージシャン講義。 課題曲「眼底の川」を初見で演奏。
12週目	課題曲「眼底の川」を予習ありで演奏。インプロヴィゼーション力向上セッション。サポートミュージシャン講義。 課題曲「Here There and Every where」を初見で演奏。
13週目	課題曲「Here There and Every where」を予習ありで演奏。インプロヴィゼーション力向上セッション。 サポートミュージシャン講義。課題曲「キラリフタリ」を初見で演奏。
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	初見で演奏した課題曲を、次週までに徹底的にコピー、予習してきてもらう。 管楽器奏者にはアレンジなどもしてもらう。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	演奏テクニックはもちろん大事だが、その楽曲の良さを最大限に生かすための雰囲気作り、また演奏者同士の雰囲気作りも大事にしていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	スマッシュルームプロジェクト（Smash Room Project）	必修選択	選択	年次	1,2年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	演習	総時間	120	開講区分	後期

【授業の学習内容】毎週、異なる課題曲を、「予習あり」「初見」の２パターンで演奏してもらい、楽曲に対する理解力、スピード感、演奏力、精神力を鍛える。セッションにてインプロヴィゼーション力を向上させる。サポートミュージシャンに関する膨大な情報や知識を細かく説明していく。

【実務者経験】ギタリスト、音楽プロデューサーであり。音楽事務所「Smash Room」代表を務めている。「感情直結型ギタリスト」の名の元、独創感かつ存在感のあるギタープレイで独自のジャンルを築き上げる。阿部真央、miwa、D-LITE、いきものがかり、 ももいろクローバーZなどのサポートミュージシャンとして活躍中。

【到達目標】
技術や精神力、コミュニケーション能力を向上させ、プロのサポートミュージシャン、スタジオミュージシャンとして、実践で活動できるようにする。

授業計画・内容	
1週目	課題曲「キラリフタリ」を予習ありで演奏。インプロヴィゼーション力向上セッション。サポートミュージシャン講義。 課題曲「忘却の空」を初見で演奏。
2週目	課題曲「忘却の空」を予習ありで演奏。インプロヴィゼーション力向上セッション。サポートミュージシャン講義。 課題曲「ふわり」を初見で演奏。
3週目	課題曲「ふわり」を予習ありで演奏。インプロヴィゼーション力向上セッション。サポートミュージシャン講義。 課題曲「罪と罰」を初見で演奏。
4週目	課題曲「罪と罰」を予習ありで演奏。インプロヴィゼーション力向上セッション。サポートミュージシャン講義。 課題曲「Tales」を初見で演奏。
5週目	課題曲「Tales」を予習ありで演奏。インプロヴィゼーション力向上セッション。サポートミュージシャン講義。 課題曲「orange」を初見で演奏。
6週目	課題曲「orange」を予習ありで演奏。インプロヴィゼーション力向上セッション。サポートミュージシャン講義。 課題曲「1-3の純情な感情」を初見で演奏。
7週目	課題曲「1-3の純情な感情」を予習ありで演奏。インプロヴィゼーション力向上セッション。サポートミュージシャン講義。 課題曲「ソラシド～ねえねえ～」を初見で演奏。
8週目	課題曲「ソラシド～ねえねえ～」を予習ありで演奏。インプロヴィゼーション力向上セッション。サポートミュージシャン講義。 課題曲「Blue」を初見で演奏。
9週目	課題曲「Blue」を予習ありで演奏。インプロヴィゼーション力向上セッション。サポートミュージシャン講義。 課題曲「0時の連鎖 」を初見で演奏。
10週目	課題曲「0時の連鎖 」を予習ありで演奏。インプロヴィゼーション力向上セッション。サポートミュージシャン講義。 課題曲「雪に書いたLOVE LETTER」を初見で演奏。
11週目	課題曲「雪に書いたLOVE LETTER」を予習ありで演奏。インプロヴィゼーション力向上セッション。サポートミュージシャン講義。 課題曲「オマエなんか大嫌い!」を初見で演奏。
12週目	課題曲「オマエなんか大嫌い!」を予習ありで演奏。インプロヴィゼーション力向上セッション。サポートミュージシャン講義。 課題曲「ゲレンデがとけるほど恋したい」を初見で演奏。
13週目	ワークショップ(海外研修)
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	初見で演奏した課題曲を、次週までに徹底的にコピー、予習してきてもらう。 管楽器奏者にはアレンジなどもしてもらう。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	演奏テクニックはもちろん大事だが、その楽曲の良さを最大限に生かすための雰囲気作り、また演奏者同士の雰囲気作りも大事にしていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	ソングライティングkey（songwriting key）	必修選択	選択	年次	1	担当教員	
		授業形態	演習	総時間（単位）	60	開講区分	前期
学科・コース	プロミュージシャン科昼間Ⅰ部・Ⅱ部						

【授業の学習内容】・曲の構成、拍子、コードなどの作曲の基礎知識を学ぶ。・好きな曲のどこが好きなのか、その要素を紐解き、分析する。（コード進行、メロディライン、リズムパターン、音色etc..）・授業内で作曲に挑戦し、曲を完成させる。

【実務者経験】作曲を始める際、難解な音楽理論を目の前にして挫折する人が多い中スタンダードはあるにせよ作曲をはじめること自体はもっと感覚的で、シンプルであり、誰にでもできる。ということを実感して頂くべく、まずはSSWとして必要な即効力のある基礎知識を、実際に作りながらわかりやすく学べる場があるといいなと感じていた。

【到達目標】
・曲の構成や、拍子、コードなどの基本的な知識を身につける。・自分一人で曲が作れるようになる。（可能であれば、メロディー先行1曲とコード先行1曲）・メロディに対するベースラインをとれるようになる（作ったメロディにコードがつけられるようになる）・完成した曲のシンプルなコード譜面をかけるようになる。

授業計画・内容	
1週目	自己紹介 / 授業の進め方を説明
2週目	基本のコード / 曲の構成 / 拍子 を覚えよう
3週目	ヒット曲と王道コードの関係
4週目	好きなコード組み合わせて、Aメロを作ってみよう。（コード先行の制作）
5週目	好きなコード組み合わせて、Bメロを作ってみよう。（コード先行の制作）
6週目	好きなコード組み合わせて、サビを作ってみよう。（コード先行の制作）
7週目	できた曲の枠組みにメロディを乗せてみよう。（コード先行の制作）
8週目	できた曲の枠組みにメロディを乗せてみよう。（コード先行の制作）
9週目	メロディを作ってみよう。（メロディ先行の制作）
10週目	メロディを作ってみよう。（メロディ先行の制作）
11週目	メロディのベースラインをとれるようになろう（メロディ先行の制作）
12週目	できたメロディにコードをつけてみよう。（メロディ先行の制作）
13週目	できたメロディにコードをつけてみよう。（メロディ先行の制作）
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	実際に曲を作りながら、作曲の際に必要な基礎知識を身につけていきましょう。 できた曲を譜面に書き出しストックしていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	ソングライティングkey (songwriting key)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	演習	総時間（単位）	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】・曲の構成、拍子、コードなどの作曲の基礎知識を学ぶ。・好きな曲のどこが好きなのか、その要素を紐解き、分析する。（コード進行、メロディライン、リズムパターン、音色etc..）・授業内で作曲に挑戦し、曲を完成させる。

【実務者経験】作曲を始める際、難解な音楽理論を目の前にして挫折する人が多い中スタンダードはあるにせよ作曲をはじめること自体はもっと感覚的で、シンプルであり、誰にでもできる。ということを実感して頂くべく、まずはSSWとして必要な即効力のある基礎知識を、実際に作りながらわかりやすく学べる場があるといいなと感じていた。

【到達目標】
・曲の構成や、拍子、コードなどの基本的な知識を身につける。・自分一人で曲が作れるようになる。（可能であれば、メロディー先行1曲とコード先行1曲）・メロディに対するベースラインをとれるようになる（作ったメロディにコードがつけられるようになる）・完成した曲のシンプルなコード譜面をかけるようになる。

授業計画・内容	
1週目	後期の授業進行ガイダンス / 後期の目標共有 / オススメの一曲
2週目	オススメの一曲 / ジャンル別歌モノ作曲（ブルース）
3週目	オススメの一曲 / ジャンル別歌モノ作曲（ブルース）
4週目	オススメの一曲 / 完成した曲の発表
5週目	オススメの一曲 /ジャンル別歌モノ作曲（ラテン）
6週目	オススメの一曲 / ジャンル別歌モノ作曲（ラテン）
7週目	オススメの一曲 / 完成した曲の発表
8週目	オススメの一曲 / ジャンル別歌モノ作曲（ジャズ）
9週目	オススメの一曲 / ジャンル別歌モノ作曲（ジャズ）
10週目	オススメの一曲 / 完成した曲の発表
11週目	オススメの一曲 / ジャンル別歌モノ作曲（ロック）
12週目	オススメの一曲 / ジャンル別歌モノ作曲（ロック）
13週目	ワークショップ(海外研修)
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	実際に曲を作りながら、作曲の際に必要な基礎知識を身につけていきましょう。 できた曲を譜面に書き出しストックしていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	ソングライティングGt（Song Writing Gt）	必修選択	選択	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】
ギターを使用した弾き語りを前提とした様々な演奏方法を身につけ、作曲方法や作詞方法を学ぶ。授業前半は弾き語りのための技術向上やコードの理解を深める座学、授業後半は各々楽曲制作し講師と相談しながらブラッシュアップして完成に向かう。

【実務者経験】中学よりキーボードでバンド活動を開始。高校卒業後、AN MUSIC SCHOOLにてギターを西野やすしに師事。在学中にヤマハPMS講師資格取得。サポートミュージシャンをはじめ楽曲提供、制作スタジオ「Studio PlusOne」の運営を行う。

【到達目標】
・弾き語り
・オリジナル楽曲の作成

授業計画・内容	
1回目	・基本的なコード(G,Em,C,D)の学習／王道ストロークの習得
2回目	・コードトーンの理解／全音符と二分音符を使用してメロディ作曲練習
3回目	・基本的なコード(Bm7,Am7,D7)／八分音符の説明／コード進行から穴埋めメロディ作曲
4回目	・ダイアトニックスケールコードⅠ（コードと構成音の説明）
5回目	・ダイアトニックスケールコードⅡ（各コードの機能の説明）
6回目	・作曲→①各々テーマを決めてコード進行のみで作曲Ⅰ
7回目	②各々テーマを決めてコード進行のみで作曲Ⅱ（1コーラス完成）
8回目	・作詞テクニック→①ストック化（テーマを決めてそれぞれの単語を書き出す）
9回目	②品詞毎の分類の説明と実践
10回目	③4大品詞に分類→名詞、動詞、形容詞、副詞
11回目	④分類した品詞をパズル的に制作
12回目	・メロディ作成→歌詞からメロディを作曲
13回目	・制作発表
14回目	ワークショップ
15回目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	＜準備学習＞カポを付ければどんなキーにもできるのでまずはキーがGで出てくるコードをマスターすれば何でもできる。 ＜時間外学習＞作曲であれば鼻歌でボイスメモにストック化、作詞は思いついたワードをメモしストック化する。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	編曲には勝ち負けはありますが、作詞作曲に勝ち負けはありません。技術関係なく平等に誰にでもできる能力です。 あとは制作テクニックを使用し質を上げる手伝いができればと思います！

【使用教科書・教材・参考書】
講師作成教材

科目名（英）	ソングライティングGt（Song Writing Gt）	必修選択	選択	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】
ギターを使用した弾き語りを前提とした様々な演奏方法を身につけ、作曲方法や作詞方法を学ぶ。授業前半は弾き語りのための技術向上やコードの理解を深める座学、授業後半は各々楽曲制作し講師と相談しながらブラッシュアップして完成に向かう。

【実務者経験】中学よりキーボードでバンド活動を開始。高校卒業後、AN MUSIC SCHOOLにてギターを西野やすしに師事。在学中にヤマハPMS講師資格取得。サポートミュージシャンをはじめ楽曲提供、制作スタジオ「Studio PlusOne」の運営を行う。

【到達目標】
・弾き語り
・オリジナル楽曲の作成

授業計画・内容	
1回目	・16分音符、タイの説明と使用／16beatのコードストロークの習得
2回目	7th、テンションノートの説明、
3回目	・オンコードの説明と実践Ⅰ
4回目	・オンコードの説明と実践Ⅱ
5回目	・セカンダリードミナントを使用した部分転調作曲Ⅰ
6回目	・セカンダリードミナントを使用した部分転調作曲Ⅱ
7回目	・ノンダイアトニックの音を使ったメロディ作曲Ⅰ
8回目	・ノンダイアトニックの音を使ったメロディ作曲Ⅱ
9回目	・英詞の重要性と使用方法
10回目	・1年のまとめ作曲
11回目	・1年のまとめ作詞
12回目	・発表
13回目	ワークショップ(海外研修)
14回目	ワークショップ
15回目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	＜準備学習＞カポを付ければどんなキーにもできるのでまずはキーがGで出てくるコードをマスターすれば何でもできる。 ＜時間外学習＞作曲であれば鼻歌でボイスメモにストック化、作詞は思いついたワードをメモしストック化する。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	編曲には勝ち負けはありますが、作詞作曲に勝ち負けはありません。技術関係なく平等に誰にでもできる能力です。 あとは制作テクニックを使用し質を上げる手伝いができればと思います！

【使用教科書・教材・参考書】
講師作成教材

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	バークリー留学対策 Berklee Ensemble	必修選択	必修	年次	1,2年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間部・II部	授業形態	講習演習	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】 ブルースの基本フォーム、スタンダード曲を用いて、メロディーの作り方、アドリブの仕方、コールアンドレスポンスを体験して学ぶ。

【実務者経験】
甲陽音楽学院エレキギター専攻を卒業後、バークリー音楽大学へ留学。
在学中はGuitar Department Achievement Award(同大学エレキギター部門最優秀賞)を受賞。帰国した現在はロック、JAZZ、ブラジリアンを中心とした音楽で、関西 を中心にライヴやレコーディングで活躍中。

【到達目標】 リードシートを理解でき、ブルース、スタンダード曲において、アドリブ力、セッション能力を身に着ける。

授業計画・内容	
1週目	イントロダクション。stable, unstable toneの説明。
2週目	基本的なコード進行に乗せて、ペンタトニックスケールを演奏、歌う。
3週目	pops,blues,swing,16beat,のリズムに合わせて演奏する。
4週目	pops,blues,swing,16beat,のリズムに合わせて演奏する。
5週目	課題のコード進行に合わせて、メロディー、ソロを制作。発表。
6週目	リードシートの説明。読み方、書き方。
7週目	イントロ、エンディングの基本を説明する。
8週目	課題曲のリードシートを作成する。
9週目	ルート66でセッション。
10週目	ルート66でセッション。
11週目	fly me to the moon でセッション。
12週目	feel like making love でセッション。
13週目	まとめ。
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	メロディー、ソロを作る課題あり。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	基礎的なところから、他の楽器とセッションして楽しめるようなコツ、技術を一緒に身につけましょう。

【使用教科書・教材・参考書】 テキストなし。授業内でプリント配布。

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	バークリー留学対策 Berklee Ensemble	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間部・II部	授業形態	講習演習	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】 ブルースの基本フォーム、スタンダード曲を用いて、メロディーの作り方、アドリブの仕方、コールアンドレスポンスを体験して学ぶ。

【実務者経験】
甲陽音楽学院エレキギター専攻を卒業後、バークリー音楽大学へ留学。
在学中はGuitar Department Achievement Award(同大学エレキギター部門最優秀賞)を受賞。帰国した現在はロック、JAZZ、ブラジリアンを中心とした音楽で、関西 を中心にライヴやレコーディングで活躍中。

【到達目標】 リードシートを理解でき、ブルース、スタンダード曲において、アドリブ力、セッション能力を身に着ける。

授業計画・内容	
1週目	マイナーペンタトニックスケールの音を、短いリズムのループに乗せてコールアンドレスポンスの練習
2週目	Dm のパターンでセッション。
3週目	chan chan 説明。ラテン風アレンジで、
4週目	chan chan 実習、アレンジ。
5週目	chan chan 実習。
6週目	いくつかのマイナーキーで短いメロディーを作る。
7週目	I wish 説明、各パートのアレンジ。
8週目	I wish 実習。
9週目	I wish 実習。
10週目	agua de beber ボサノバ説明、各パートのアレンジ。
11週目	agua de beber 実習。
12週目	agua de beber 実習。
13週目	ワークショップ(海外研修)
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	メロディー、ソロを作る課題あり。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	基礎的なところから、他の楽器とセッションして楽しめるようなコツ、技術を一緒に身につけましょう。

【使用教科書・教材・参考書】 テキストなし。授業内でプリント配布。

科目名 (英)	バンドアンサンブル BAND Ensemble	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】正確な読譜力、応用力、表現力を向上させる為、毎回出される課題曲を合奏する。又、現場対応力をつけるため、その場でのヘッドアレンジによる演奏も行う。

【実務者経験】
ラスベガスで日本人初の単独公演。ヨーロッパの国立オーケストラ、ブルガリア国立ソフィアフィルハーモニーとブルガリアで共演するなど国際的に活躍。ポニーキャニオン系列からデビュー。USJのドラマーとして活動。USJカウントダウンショー製作。Battle de Egg優勝。TV出演、片岡愛之助「夜の愛之助」/NHK「ゆく年くる年」/フジテレビ「ワケあり旅人に便乗してみました」。ナタリーエモンズ(ex.トリバゴ)日本初コンサート出演。

【到達目標】楽器(歌唱の場合は発声器官)と特性を学び技術力を高めるとともに発声法、リズムトレーニング、読譜を用いて基礎の部分を学び記譜された音楽に対する順応力を高め、初見能力の基礎として学びます。

授業計画・内容	
1回目	課題曲を用いて。課題曲1曲
2回目	課題曲を用いて。課題曲1曲
3回目	課題曲を用いて。課題曲1曲
4回目	課題曲を用いて。課題曲1曲
5回目	課題曲を用いて。課題曲1曲
6回目	課題曲を用いて。課題曲1曲
7回目	課題曲を用いて。課題曲1曲
8回目	課題曲おさらい
9回目	課題曲を用いて。課題曲1曲
10回目	課題曲を用いて。課題曲1曲
11回目	課題曲を用いて。課題曲1曲
12回目	課題曲を用いて。課題曲1曲
13回目	課題曲全曲おさらい
14回目	ワークショップ
15回目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	事前予習を行うこと！
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	アンサンブルの土台をしっかり身に付けよう！

【使用教科書・教材・参考書】
講師作成教材

科目名 (英)	バンドアンサンブル BAND Ensemble	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】正確な読譜力、応用力、表現力を向上させる為、毎回出される課題曲を合奏する。又、現場対応力をつけるため、その場でのヘッドアレンジによる演奏も行う。

【実務者経験】
ラスベガスで日本人初の単独公演。ヨーロッパの国立オーケストラ、ブルガリア国立ソフィアフィルハーモニーとブルガリアで共演するなど国際的に活躍。ポニーキャニオン系列からデビュー。USJのドラマーとして活動。USJカウントダウンショー製作。Battle de Egg優勝。TV出演、片岡愛之助「夜の愛之助」/NHK「ゆく年くる年」/フジテレビ「ワケあり旅人に便乗してみました」。ナタリーエモンズ(ex.トリバゴ)日本初コンサート出演。

【到達目標】楽器(歌唱の場合は発声器官)と特性を学び技術力を高めるとともに発声法、リズムトレーニング、読譜を用いて基礎の部分を学び記譜された音楽に対する順応力を高め、初見能力の基礎として学びます。

授業計画・内容	
1回目	課題曲を用いて。課題曲1曲
2回目	課題曲を用いて。課題曲1曲
3回目	課題曲を用いて。課題曲1曲
4回目	課題曲を用いて。課題曲1曲
5回目	課題曲を用いて。課題曲1曲
6回目	課題曲を用いて。課題曲1曲
7回目	課題曲おさらい
8回目	課題曲を用いて。課題曲1曲
9回目	課題曲を用いて。課題曲1曲
10回目	課題曲を用いて。課題曲1曲
11回目	課題曲を用いて。課題曲1曲
12回目	課題曲全曲おさらい
13回目	ワークショップ(海外研修)
14回目	ワークショップ
15回目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	事前予習を行うこと！
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	アンサンブルの土台をしっかり身に付けよう！

【使用教科書・教材・参考書】
講師作成教材

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	ミュージッククリエーション（Music Creation）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	演習	総時間	120	開講区分	前期

【授業の学習内容】・DTM(Cubase)を使用して作曲の基礎を学ぶ。・授業を通して実際に制作をしてみる。

【実務者経験】シンガーソングライターとして、楽曲の世界観を描くように繊細かつ大胆にemotionalに変化するvocal styleで地元関西、名古屋、広島、東京での活動を経て、多拠点暮らしの豊かな日々を歌う。また、長渕剛、橋本環奈などアーティストのコンサートサポートシンガーとしても活躍。

【到達目標】
・DTM(cubase)の基本的な操作を行えるようになる。・DTM(cubase)を使用して基本的な作曲（リズム先行/コード先行/メロディ先行）ができるようになる。

授業計画・内容	
1週目	自己紹介 / 授業説明 / 機材紹介 / 基本操作
2週目	リズム先行で曲を作ってみよう。/ Groove Agent SE使用 / ジャンル別リズム説明
3週目	リズム先行（ループパターン）で曲を作ってみよう。/ 各々作業をしながら質問
4週目	リズム先行（打ち込み）で曲を作ってみよう。/ 各々作業をしながら質問
5週目	ミックスダウンをしてみよう。 / Mix console使用
6週目	コード先行で曲を作ってみよう。 / HALion Sonic SE使用 / ジャンル別の音色とコード進行説明
7週目	コード先行（コードトラック）で曲を作ってみよう。/ 各々作業をしながら質問
8週目	コード先行（打ち込み）で曲を作ってみよう。/ 各々作業をしながら質問
9週目	メロディ先行で曲を作ってみよう。/ オーディオデータ録音(vocal) / ピッチ補正・エフェクト
10週目	メロディ先行で曲を作ってみよう。/各々作業をしながら質問
11週目	メロディ先行で曲を作ってみよう。/ 各々作業をしながら質問
12週目	13周目に新曲発表 / 制作の課題を伝える(実際の制作依頼シュミレーション) /制作スタート
13週目	新曲発表会
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	この授業ではいろんな楽器の方が集まります。それぞれの方法でDTM(cubase)を使って作曲をして頂きやすいように、リズム先行とコード先行、メロディ先行で作曲をして頂きます。ぜひみなさんで話し合いながら、自分にぴったりの方法を見つけて素敵な作品を作っていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	ミュージッククリエーション（Music Creation）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	演習	総時間	120	開講区分	後期

【授業の学習内容】□・DTM(Cubase)を使用して作曲の基礎を学ぶ。□・授業を通して実際に制作をしてみる。

【実務者経験】シンガーソングライターとして、楽曲の世界観を描くように繊細かつ大胆にemotionalに変化するvocal styleで地元関西、名古屋、広島、東京での活動を経て、多拠点暮らしの豊かな日々を歌う。また、長渕剛、橋本環奈などアーティストのコンサートサポートシンガーとしても活躍。

【到達目標】
・DTM(cubase)の基本的な操作を行えるようになる。・DTM(cubase)を使用して基本的な作曲（リズム先行/コード先行/メロディ先行）ができるようになる。

授業計画・内容	
1週目	後期の授業進行ガイダンス / 後期の目標共有 / ツーミックス作業について
2週目	CMコンペ第二弾題目発表(30秒cm)/作業開始
3週目	前半作業/CMコンペ第二弾作品プレゼンテーション
4週目	劇伴体験/映像題目発表
5週目	劇伴作業
6週目	前半作業/劇伴作品プレゼンテーション
7週目	オリジナル曲制作/ジャンル別リズムパターン
8週目	オリジナル曲制作/ジャンル別ハーモナイズ
9週目	オリジナル曲制作/ジャンル別スケールパターン
10週目	新曲発表会
11週目	オリジナル曲制作/ジャンル別簡易アレンジパターン
12週目	年間まとめ/オリジナルミックスおよびMクリLIVE！ / 自作トラックと各々の楽器で同期しながらのLIVE！
13週目	ワークショップ(海外研修)
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	この授業ではいろんな楽器の方が集まります。それぞれの方法でDTM(cubase)を使って作曲をして頂きやすいように、リズム先行とコード先行、メロディ先行で作曲をして頂きます。ぜひみなさんで話し合いながら、自分にぴったりの方法を見つけて素敵な作品を作っていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	英会話 GLOBAL COMMUNICATION	必修選択	必須	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	講義	総時間	60	開講区分	前期(半期)

【授業の学習内容】
日常生活の様々な場面で使える頻度の高いコミュニケーション英語を学ぶ。

【実務者経験】
・Jackson Abatemarco（ジャクソン・アバテマルコ）:日本では2018年よりお子様や高校生を対象に英語教授経験あり。
・Ceasar Rodriguez（シーザー・ロドリゲス）:2010年より企業や英会話教室などで幅広い年齢層に教授経験あり。

【到達目標】
様々な場面で出てくるトピックに関して、自信を持って話せるようになる。

授業計画・内容	
1回目	L. 1 授業計画の説明、プレテスト、初対面のあいさつ～お別れまでの会話が出来る。、プレテスト
2回目	L. 2 & 3 自己紹介、友人の紹介、パーソナルインフォメーションに関する一般的な質問に対する受け答えが出来る。
3回目	L. 5 & 6　好き・嫌い等の好みについての会話が出来る。
4回目	L. 8　意見を尋ねる/意見を述べる。お誘いを受けた際の返答が出来る。
5回目	L. 11 & 12　人を褒める＆褒められた際の会話表現。（衣服など）着ているものに関して述べることが出来る。
6回目	L. 7, 13, & 14　時間について表現する。日々の習慣について話す＆質問できる。
7回目	L. 19 & 20　道案内をする・場所を尋ねることが出来る。
8回目	L. 21 & 23　数やお金の数え方・価格や頻度についての質問や受け答えが出来る。
9回目	L. 28　料理の味や材料について＆レストランでのオーダーが出来るようになる。
10回目	L. 29 & 30　過去の出来事について話す＆質問できる。
11回目	L. 31　自分の体験について話す＆それに対するリアクションや返答が出来るようになる。
12回目	L. 32　週末や未来の予定について話すことが出来る。
13回目	総復習
14回目	本試験
15回目	試験返却、解説、ポストテスト
準備学習 時間外学習	事前に教科書を読んでおきましょう。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	皆さんは既にたくさんの英語を知っています。英語を話せるように、一緒に頑張りましょう！

【使用教科書・教材・参考書】
Speak Now1

科目名（英）	音楽史（Music History）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	講義	総時間	60	開講区分	前期(半期)

【授業の学習内容】 コムグルームのOSMで20年近くに渡り音楽史を教えたノウハウをもとに、講義の中では事例としてアーティストの楽曲を聴くだけでなく、ライブ動画やPVなども豊富にプロジェクションすると共に、ニュース映像も紹介することから、時代背景と共にポピュラーミュージックの歴史を学ぶ。

【実務者経験】幼少期から小学生時代にかけてピアノやトランペットなど多くの楽器に触れ、中高生時代を通じ独学で作曲活動を始める。1993年3月大阪芸術大学音楽学科卒業後、1995年3月武庫川女子大学大学院修士課程を修了。1998年プライヴェート・オフィス・ミニスタジオを設立し、2009年法人化。在学中からファッションショーの音楽制作をはじめ、株式会社フェイスのベンチャー・スタッフとしてゲームやCMなどの商業音楽も数多く手掛ける。一方では、サウンドアーティストとして美術館やギャラリーなどで多くの現代音楽家・現代美術家らと共演、自らの作品も発表する。テクノバンド“A.C.E.”、“EP-4 unitP”“salbattle”などでは、海外ツアーも経験。現在はラジオ関西やFM MOOVでも音楽カルチャー番組を手掛けるなど、その活動は多方面に及ぶ。

【到達目標】 本授業を学ぶことにより、卒業後に業界団体に携わる際、最低限必要となる一般的な音楽知識を身につけることが到達目標である。

授業計画・内容	
1週目	●2010年代から過去へと遡り、現在のヒットチャートに直接関係する原点を探る。
2週目	1940年代～ ●ラジオの普及とメディアの発達など。 〇ロックンロール
3週目	1950年代～ 〇サーフ&ホットロッド 〇アイドルポップ 〇ソウル
4週目	1960年代～ ●公民権運動など 〇フォークとブリティッシュビート、フォークロック ●スタジオ技術の発展とPA機器の発達 〇サイケデリックロックとアートロック
5週目	1970年代～ ●音楽産業発展の時代 〇フレンチポップ 〇プログレッシブロック 〇モッズ 〇グラムロック 〇パブロック 〇ファンク～ディスコ
6週目	1970年代～ 〇シンガーソングライターとAOR 〇サザンロックとウェストコースト 〇ハードロックとブルースロック 〇ヘヴィメタル（～2000年代）
7週目	1970年代～ ●アンダーグラウンドシーンの登場 〇パンク～ニューウェイブ 〇レゲエ～ダブ ●音楽とファッション
8週目	1980年代～ ●音楽スタジオと電子機材 〇エレクトロニックポップとテクノポップ ●新しいブラックミュージックの登場 〇ブラックコンテンポラリー 〇エレクトロニックファンク～ヒップホップ ●MTVとスーパースター
9週目	1990年代～ ●クラブミュージックの隆盛 〇アシッドジャズ 〇マッドチェスター 〇テクノ 〇ヒップホップ～R&B
10週目	1990年代～ ●オルタナティブシーン 〇グランジ 〇ミクスチャー 〇ラウドロック 〇ハードコア～メロディックコア 〇ヘビーロック 〇インダストリアル
11週目	2000年代～ ●ロックミュージックの新たな地平 〇ポストロック 〇ニューウェイブリバイバル、など
12週目	2010年代～ 現在のアーティストを中心に
13週目	●音楽とボランティア、社会活動～フェスティバルの開催、など、について
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	日常的に耳にしている音、音楽を意識的に聴くことにより、その音楽のバックグラウンドやルーツと関連付けられる習慣を身につける訓練をする。
評価方法	毎回授業に出席しているか（出席率）。講師の質問に受け答えができるか、また授業態度は適切か（平常点）、など。これらを軸に評価付けするものとする。
受講生へのメッセージ	興味のないジャンルや時代の紹介であっても居眠りはしない。ましてや私語により周囲へ迷惑をかけることは慎むこと。リラックスして「音」を「楽」むことから、自分にとって僅かでも新たな音楽との出会いになりますように。

【使用教科書・教材・参考書】 本学指定のテキストを使用。

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	Pf/KeyPC(Piano/Keyboard Private Counseling)	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】
コードネームのジャンルなどによる解釈。テンションノートの組み込み方、リフの作成。オリジナルコード進行を変えたアレンジ（リハーモナイズ）。アドリブ演奏へのアプローチ。

【実務者経験】
大学を卒業後、甲陽音楽学院に入学。ピアノをフィリップストレンジ氏に、理論・アレンジを荒崎英一郎氏に師事。その後、25歳からポップス・ジャズ・フュージョンなどでプロとしての音楽活動に入る。ライブハウス・スタジオでの演奏活動に加え、TVでの録音やテーマパークの楽曲アレンジ制

【到達目標】
コードネーム 、ジャンルより演奏の仕方を考えて演奏出来るようになる事。楽曲アレンジの要素も含む。

授業計画・内容	
1週目	テンション9th,b9.#9を含んだハーモニーの使用と演奏法の説明。
2週目	テンション9th,b9.#9を含んだハーモニーの使用と演奏法の実習。
3週目	テンション11th,#11.13.b13を含んだハーモニーの使用と演奏法の説明。
4週目	テンション11th,#11.13.b13を含んだハーモニーの使用と演奏法の実習。
5週目	ロックにおけるハーモニーの構築
6週目	ポップスにおけるハーモニーの構築
7週目	フュージョン。ジャズ、ボサノバにおけるハーモニーの構築
8週目	リフとは何か？説明
9週目	ドミナント7tコードでのリフの作成の説明。
10週目	ドミナント7tコードでのリフの作成の実習。
11週目	マイナーコードでのリフの作成の説明。
12週目	マイナーコードでのリフの作成の実習。
13週目	総復習、確認及び実習
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	少しずつ積み上げていく事が大きな成長に繋がります。頑張って下さい！

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	Pf/KeyPC(Piano/Keyboard Private Counseling)	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】
総まとめとして　相手の要望に応える事と現場を仕切れる力を養う。

【実務者経験】
大学を卒業後、甲陽音楽学院に入学。ピアノをフィリップストレンジ氏に、理論・アレンジを荒崎英一郎氏に師事。その後、25歳からポップス・ジャズ・フュージョンなどでプロとしての音楽活動に入る。ライブハウス・スタジオでの演奏活動に加え、TVでの録音やテーマパークの楽曲アレンジ制

【到達目標】
イントロ　アドリブ　エンディング　その場の打ち合わせに対応する集中力をつける。

授業計画・内容	
1週目	ポップス課題曲1　実践練習　その場の要望に対応する。（サイズ変更、間奏挿入など）
2週目	ポップス課題曲2　実践練習　その場の要望に対応する。（アドリブ指定、リズムのキメ挿入）
3週目	ポップス課題曲3　実践練習　その場の要望に対応する。（イントロ付け、ジャンルの部分変更）
4週目	ポップス課題曲4　実践練習　その場の要望に対応する。（サイズ変更、間奏挿入など）
5週目	ロック課題曲1　実践練習　その場の要望に対応する。（ペンタトニックを使用したアドリブ）
6週目	フュージョン課題曲1　実践練習　その場の要望に対応する。（アドリブ、サイズ変更など）
7週目	ジャズ課題曲1（イントロとエンディングの指示に対応する）
8週目	ポップス課題曲1　実践練習　楽曲を編曲し指示する。（イントロからエンディングまで）
9週目	ポップス課題曲2　実践練習　楽曲を編曲し指示する。（イントロからエンディングまで）
10週目	ロック課題曲1　実践練習　楽曲を編曲し指示する。（イントロからエンディングまで）
11週目	ロック課題曲2　実践練習　楽曲を編曲し指示する。（イントロからエンディングまで）
12週目	ジャズまたはオリジナル曲　実践練習　楽曲を編曲し指示する。（イントロからエンディングまで）
13週目	ワークショップ(海外研修)
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	少しずつ積み上げていく事が大きな成長に繋がります。頑張って下さい！

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	西洋音楽史　Western music	必修選択	必修	年次	1,2年次	担当教員	
学科・コース	プロミュージシャン科昼間I部・II部	授業形態	講習	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】　この講義では、太古より現代に至るまで連綿と「発展」し続けて来たとされる西洋音楽の歴史を、まずはオーソドックスな視点から、俯瞰的・系統的に学びます。
前半は、音楽の起源への考察を出発点に、中世→ルネッサンス→バロック→クラシックへと、時系列に沿って音楽の変遷を辿ります。後半は、近代市民社会成立後の１９世紀から激動の２０世紀、そして私達の２１世紀に至るまで、時系列に沿って音楽の変遷を辿ります。その上で、音楽史における”常識”の限界を見極めつつ、更なるクリティカルな視点に照らし、音楽／歴史の揺れ動く真実の向うにその本質を探ります。

【実務者経験】1974年京都府宮津市出身。95年吹田音楽コンクール作曲部門第2位（最上位）。96年より各地の祭礼と音楽を巡る踏査を始動。97年京都市立芸術大学卒業。99年ブレーメン芸術大学に派遣留学。2000年京都芸大大学院（修士課程）修了。01年より作曲活動を本格開始、京都を拠点に日本の風土や伝承に根差した独自の作品を発表

【到達目標】 西洋音楽が時代背景とともにたどってきた変化や歴史を理解し、多様な音楽に関心を持つことで自らの音楽観を豊かにする。

授業計画・内容	
1週目	ﾌﾟﾛﾛｰｸﾞ･西洋音楽の起源～神･調和･宇宙像～
2週目	音楽の中世～単旋律聖歌から14世紀の前衛まで～
3週目	音楽の中世～単旋律聖歌から14世紀の前衛まで～
4週目	音楽のﾙﾈｯｻﾝｽ～ｲﾀﾘｱ､ﾌﾞﾘﾃﾝ､ﾌﾗﾝﾄﾞﾙ～
5週目	音楽のﾙﾈｯｻﾝｽ～ｲﾀﾘｱ､ﾌﾞﾘﾃﾝ､ﾌﾗﾝﾄﾞﾙ～
6週目	音楽のﾊﾞﾛｯｸ～ﾓﾝﾃﾍﾞﾙﾃﾞｨからﾊﾞｯﾊへ～
7週目	音楽のﾊﾞﾛｯｸ～ﾓﾝﾃﾍﾞﾙﾃﾞｨからﾊﾞｯﾊへ～
8週目	音楽のｸﾗｼｯｸ～ﾊｲﾄﾞﾝ､ﾓｰﾂｧﾙﾄ､ﾍﾞｰﾄｰｳﾞｪﾝ～
9週目	音楽のｸﾗｼｯｸ～ﾊｲﾄﾞﾝ､ﾓｰﾂｧﾙﾄ､ﾍﾞｰﾄｰｳﾞｪﾝ～
10週目	音楽の19世紀～ﾛﾏﾝ主義の栄光､民族主義の勃興～
11週目	音楽の19世紀～ﾛﾏﾝ主義の栄光､民族主義の勃興～
12週目	音楽の20世紀～印象派､原始主義､12音音楽～
13週目	音楽の21世紀へ～前衛の極北からﾎﾟｽﾄﾓﾀﾞﾆｽﾞﾑへ～
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	講義は、教科書の読み辿りを軸に、参考音源等を鑑賞しつつ、質疑応答を中心に進みます。必ずしも高度な専門知識を必要とするものではありません。さまざまな専攻の皆さんの意欲的な参加を望みます。

【使用教科書・教材・参考書】 西洋音楽の歴史[東京書籍]/高橋･中村他